



本資料は、サノフィ(フランス、パリ)が2016年7月29日(現地時間)に発表したプレスリリースを日本語に翻訳・編集し、8月5日に配信するものです。本資料の正式言語はフランス語・英語であり、その内容および解釈については両言語が優先します。日本語で承認されている主な製品名および一般名についてはカタカナ表記をしています。

サノフィ、2016年度第2四半期の業績を発表

	2016年度 第2四半期	前年同期比	前年同期比 (CER)	2016年度上半期	前年同期比	前年同期比 (CER)
IFRS 純売上高(為替調整前)	€8,143m	-5.1%	-0.9%	€15,926m	-4.2%	-0.8%
IFRS 純利益(為替調整前)	€1,158m	-11.1%		€2,245m	-3.4%	
IFRS 1株当たり純利益(為替調整前)	€0.90	-10.0%		€1.74	-2.2%	
カンパニー売上高総計 ⁽¹⁾	€8,868m	-4.3%	-0.2%	€17,411m	-3.2%	+0.2%
事業純利益 ⁽²⁾	€1,680m	-8.7%	-3.3%	€3,402m	-4.6%	0.0%
1株当たり事業純利益 ⁽²⁾	€1.31	-7.1%	-2.1%	€2.64	-3.3%	+1.5%

ベリンガーインゲルハイム社との独占的交渉を発表したことに伴い、また廃止事業に関するIFRS第5号発表要件として、サノフィの動物用医薬品事業(メアル)は、2016年度第2四半期と上半期、および前年同期の連結損益計算書において、独立項目(「交換するために保留している動物用医薬品事業による純利益」として報告されます。取引完了までは、同事業はIFRS第8号に沿った営業部門として存続し、カンパニー(サノフィとその子会社)の重要な業績指標に含まれるため、サノフィが動物用医薬品事業の業績を管理および報告します。

第2四半期の財務実績と2016年度通年の見通し

- カンパニー売上高総計⁽¹⁾は、0.2%減⁽³⁾(2016年度の為替レートで4.3%減)の88億6,800万ユーロ。ベネズエラを除くと、カンパニー売上高総計は1.9%増
- IFRS 1株当たり純利益(為替調整前)は、10.0%減の0.90ユーロ
- 1株当たり事業純利益⁽²⁾は、CERベースで2.1%減(調整前7.1%減)の1.31ユーロ
- 重大な予期せぬ要因が発生しない限り、2016年度通年の1株当たり事業純利益⁽²⁾をCERベースで概ね一定⁽⁴⁾と予測

サノフィジェンザイムがグローバルビジネスユニット(GBU)の業績を牽引

- サノフィジェンザイムは、多発性硬化症および希少疾患製品群において堅調な2桁成長を達成(20.1%増)
- サノフィパストールの売上高は、米国でPentacel[®]の供給制限が予想されたにもかかわらず6.3%増
- ジェネラルメディスンおよび新興市場⁽⁵⁾の売上高は、5.6%減(ベネズエラを除くと1.9%減)
- 糖尿病および循環器の売上高は、3.5%減。グローバル糖尿病製品群の売上高は、3.2%減
- 動物用医薬品の売上高は、NexGard[®](ネクスガード)製品群の成功に牽引され、9.1%増の7億2,500万ユーロ
- ベネズエラを除くと、新興市場の売上高総計は、6.7%増

主な新製品の最新情報

- Toujeo[®](ランタスXR)の世界売上高は、1億4,100万ユーロ
- Praluent[®]は日本で承認を取得、米国では市場シェアが向上し、発売が世界中で進展
- 中南米における最近の政治的変化と経済変動を受けて、Dengvaxia[®]の立ち上がりが遅延

主要な研究開発マイルストーンの達成

- アトピー性皮膚炎を対象としたdupilumabのCHRONOS試験で肯定的なデータを収集
- 米国でAdlyxin[™](一般名:リキシセナチド)が承認を取得
- FDA諮問委員会がLixiLanの承認を勧告

サノフィ株式会社

〒163-1488 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー
www.sanofi.co.jp

サノフィ最高経営責任者(CEO)のオリヴィエ・ブランディケールのコメント:

「第 2 四半期の業績は予測どおりであり、想定していた厳しい状況を反映しています。サノフィジェンザイムは 20%成長し、サノフィパスツールは Dengvaxia® の立ち上がりの遅れにもかかわらず、好業績を記録しました。最近の出来事として、CHC 事業交換契約を締結し、複数の国で Praluent® の承認を取得したほか、dupilumab の第 III 相 CHRONOS 試験から肯定的なデータを収集しました。上半期の業績を受けて、2016 年度通年の 1 株当たり事業純利益が CER ベースで概ね一定となる見通しです」

(1) IFRS 第 5 号(売却するために保留している固定資産および廃止事業)に従い、連結損益計算書で単一項目として報告されるメリアルを含みます(カンパニー売上高総計の定義については付録 10 を参照)。さらに、「総計」の用語を使用するすべての損益計算書において、サノフィのコメントはメリアルを含みます。(2) 当カンパニーの業績をわかりやすく示すため、事業純利益計算書について説明します。事業純利益は、GAAP(一般会計原則)に調整を加えた財務指標です(定義は付録 10 を参照)。2016 年度第 2 四半期および上半期の連結損益計算書については付録 4 に、事業純利益から IFRS 純利益(為替調整前)への調整については付録 3 に記載しています。(3) 特に指定のない限り、純売上高および売上高総計の変動率は為替レート変動の影響を除いて(CER)算出(定義は付録 10 を参照)(4) 2015 年度の 1 株当たり事業純利益は 5.64 ユーロ(5) 9 ページを参照

2016 年度第 2 四半期および上半期のサノフィ売上高総計

特に指定のない限り、当プレスリリースの売上高の変動率は為替レート変動の影響を排除して⁽⁷⁾算出しています。

2016 年度第 2 四半期のカンパニー売上高総計は、2016 年の為替レートで 4.3%減の 88 億 6,800 万ユーロでした。為替レート変動により、米ドルと複数の新興市場通貨における不利な変動が日本円のプラス影響を上回り、4.1 ポイントのマイナス影響を受けました。為替レート変動の影響を排除した場合のカンパニー売上高総計は、0.2%減でした。上半期のカンパニー売上高総計は、2016 年の為替レートで 3.2%減の 174 億 1,100 万ユーロとなりました。為替レートの変動により、3.4 ポイントのマイナス影響を受けました。

この業績には、2016 年 2 月に為替システムが変更され、特権的な公定歩合⁽⁸⁾でベネズエラ・ボリバルを米ドルに交換できない状態が続いた結果として生じた、ベネズエラ事業の換算に適用された為替レートの変更に関連した為替レートのマイナス影響が含まれています。さらに、サノフィは前年同期に、ベネズエラの現地市場の状況に応じた購入パターンによる、製品需要の大幅拡大の恩恵を受けました。その結果、2016 年度第 2 四半期におけるベネズエラの売上高は 600 万ユーロとなりました(前年同期は 1 億 9,900 万ユーロ)。ベネズエラを除くと、第 2 四半期のカンパニー売上高総計は 1.9%増、上半期のカンパニー売上高総計は 2.5%増でした。

グローバルビジネスユニット

以下の表は、グローバルビジネスユニット(GBU)別の売上高をまとめたものであり、2016 年 1 月 1 日付のサノフィの組織体制を示しています。この組織体制では、新興市場のすべての医薬品売上高がジェネラルメディシンおよび新興市場 GBU に計上されます。この新たな報告体系により、サノフィの体制が簡素化され、専門化が進み、成長要因に明確に注力できるようになります。

GBU 別純売上高 (単位:100 万ユーロ)	2016 年度 第 2 四半期	前年同期比 (CER)	2016 年度上半期	前年同期比 (CER)
サノフィジェンザイム(スペシャルティケア) ^(a)	1,245	+20.1%	2,414	+20.3%
糖尿病および循環器 ^(a)	1,603	-3.5%	3,102	-4.6%
ジェネラルメディシンおよび新興市場 ^(b)	4,498	-5.6% ^(c)	8,988	-4.9% ^(d)
サノフィパスツール(ワクチン)	797	+6.3% ^(e)	1,422	+7.1% ^(f)
メリアル(動物用医薬品)	725	+9.1%	1,485	+13.2%
カンパニー売上高総計	8,868	-0.2%^(g)	17,411	+0.2%^(h)

(a) 新興市場の売上高は含まず一定義は 9 ページを参照;(b) 糖尿病および循環器とスペシャルティケアの新興市場の売上高を含む;(c) ベネズエラを除くと 1.9%減;(d) ベネズエラを除くと 1.1%減;(e) ベネズエラを除くと 7.0%増;(f) ベネズエラを除くと 7.8%増;(g) ベネズエラを除くと 1.9%増;(h) ベネズエラを除くと 2.5%増

グローバル製品群

以下の表に、グローバル製品群別の売上高をまとめました。製品群別の業績は従来の報告手法に関連するものであり、これらは直接比較することができます。付録 1 に、GBU 別および製品群別の調整値をまとめました。

製品群別純売上高 (単位:100 万ユーロ)	2016 年度 第 2 四半期	前年同期比 (CER)	先進国市場	前年同期比 (CER)	新興市場	前年同期比 (CER)
スペシャルティケア	1,493	+19.5% ^(a)	1,245	+20.1%	248	+16.8% ^(b)
糖尿病および循環器	1,962	-2.0% ^(c)	1,603	-3.5%	359	+4.7% ^(d)

エスタブリッシュ製品	2,617	-9.7% ^(e)	1,676	-10.9%	941	-7.7% ^(f)
コンシューマー・ヘルスケア (CHC)	800	-4.3% ^(g)	511	+2.1%	289	-13.0% ^(h)
ジェネリック医薬品	474	-1.9% ⁽ⁱ⁾	271	-5.5%	203	+2.6% ^(j)
ワクチン	797	+6.3% ^(k)	463	+3.8%	334	+9.8% ^(l)
動物用医薬品	725	+9.1%	565	+7.3%	160	+15.6%
純売上高総計の合計	8,868	-0.2%^(m)	6,334	0.0%	2,534	-0.5%⁽ⁿ⁾

(a) ベネズエラを除くと 20.3%増; (b) ベネズエラを除くと 21.1%増; (c) ベネズエラを除くと 0.9%減; (d) ベネズエラを除くと 11.4%増; (e) ベネズエラを除くと 6.6%減; (f) ベネズエラを除くと 1.5%増; (g) ベネズエラを除くと 0.6%増; (h) ベネズエラを除くと 1.8%減; (i) ベネズエラを除くと 0.4%増; (j) ベネズエラを除くと 8.2%増; (k) ベネズエラを除くと 7.0%増; (l) ベネズエラを除くと 11.5%増; (m) ベネズエラを除くと 1.9%増; (n) ベネズエラを除くと 6.7%増

(7) 財務指標の定義は付録 10を参照(8) 2016年度第2四半期に使用した為替レートは、前年同期の1米ドル当たり6.3VEFの特権的な公定 CENCOEX レートに対し、DICOM レート(1米ドル当たり628VEF)

以下の表に、2016年度上半期のグローバル製品群別の売上高をまとめました。

製品群別純売上高 (単位:100万ユーロ)	2016年度 上半期	前年同期比 (CER)	先進国市場	前年同期比 (CER)	新興市場	前年同期比 (CER)
スペシャルティケア	2,864	+19.0% ^(a)	2,414	+20.3%	450	+13.3% ^(b)
糖尿病および循環器	3,794	-2.8% ^(c)	3,102	-4.6%	692	+5.6% ^(d)
エスタブリッシュ製品	5,208	-9.0% ^(e)	3,343	-11.2%	1,865	-5.1% ^(f)
コンシューマー・ヘルスケア (CHC)	1,705	-3.6% ^(g)	1,105	+1.8%	600	-11.4% ^(h)
ジェネリック医薬品	933	+0.6% ⁽ⁱ⁾	553	0.0%	380	+1.4% ^(j)
ワクチン	1,422	+7.1% ^(k)	810	-1.7%	612	+20.7% ^(l)
動物用医薬品	1,485	+13.2%	1,177	+10.1%	308	+25.2%
純売上高総計の合計	17,411	+0.2%^(m)	12,504	-0.4%	4,907	+1.7%⁽ⁿ⁾

(a) ベネズエラを除くと 19.7%増; (b) ベネズエラを除くと 17.3%増; (c) ベネズエラを除くと 1.8%減; (d) ベネズエラを除くと 11.8%増; (e) ベネズエラを除くと 5.7%減; (f) ベネズエラを除くと 4.9%増; (g) ベネズエラを除くと 1.5%増; (h) ベネズエラを除くと 1.0%増; (i) ベネズエラを除くと 3.3%増; (j) ベネズエラを除くと 7.7%増; (k) ベネズエラを除くと 7.8%増; (l) ベネズエラを除くと 22.7%増; (m) ベネズエラを除くと 2.5%増; (n) ベネズエラを除くと 9.7%増

医薬品

2016年度第2四半期における医薬品事業の売上高は、糖尿病、CHC、およびエスタブリッシュ処方製品の売上高減少が多発性硬化症および希少疾患製品群によって部分的に相殺された影響を受け、1.7%減の73億4,600万ユーロとなりました。ベネズエラを除くと、第2四半期における医薬品事業の売上高は、0.8%増でした。上半期における医薬品事業の売上高は、1.5%減の145億400万ユーロとなりました。ベネズエラを除くと、上半期における医薬品事業の売上高は、1.0%増でした。

希少疾患製品群

純売上高 (単位:100万ユーロ)	2016年度 第2四半期	前年同期比 (CER)	2016年度 上半期	前年同期比 (CER)
Cerezyme [®] (セレザイム)	199	+8.0% ^(a)	381	+5.9% ^(b)
Myozyme [®] (マイオザイム)/ Lumizyme [®]	182	+13.9%	348	+11.2%
Fabrazyme [®] (ファブラザイム)	167	+17.8%	316	+12.2%
Aldurazyme [®] (アウドラザイム)	50	+6.0%	98	+5.1%
Cerdelga [®] (サデルガ)	26	+62.5%	49	+88.5%
希少疾患合計	707	+14.2%^(c)	1,353	+11.4%^(d)

(a) ベネズエラを除くと 9.2%増; (b) ベネズエラを除くと 7.9%増; (c) ベネズエラを除くと 15.5%増; (d) ベネズエラを除くと 12.7%増

第2四半期におけるゴーシェ病製品群(Cerezyme[®](セレザイム)およびCerdelga[®](サデルガ))の売上高は、新興市場でのCerezyme[®](セレザイム)(27.3%増の7,000万ユーロ)およびCerdelga[®](サデルガ)(前年同期の1,600万ユーロに対し、2,600万ユーロ)の拡大によって維持され、12.1%増の2億2,500万ユーロとなりました。第2四半期における米国でのゴーシェ病製品群の売上高は、Cerezyme[®](セレザイム)の売上高が減少した(4.1%減の4,500万ユーロ)ものの、Cerdelga[®](サデルガ)の売上高(33.3%増の2,000万ユーロ)によって十分に補われ、4.7%増の6,500万ユーロとなりました。欧州では現在、ドイツ、フランス、デンマーク、および北欧諸国でCerdelga[®](サデルガ)が販売されており、ゴーシェ病製品群の欧州での売上

高は、5.5%増の 7,600 万ユーロとなりました。上半期におけるゴーシェ病製品群の売上高は、11.1%増の 4 億 3,000 万ユーロでした。上半期における Cerezyme®(セレザイム)の売上高は、5.9%増の 3 億 8,100 万ユーロ、Cerdelga®(サデルガ)の売上高は、88.5%増の 4,900 万ユーロでした。

第 2 四半期における Fabrazyme®(ファブラザイム)の売上高は、米国(14.5%増の 8,500 万ユーロ)、欧州(14.3%増の 4,000 万ユーロ)、日本、および新興市場(23.5%増の 1,600 万ユーロ)に牽引され、17.8%増の 1 億 6,700 万ユーロとなりました。上半期における Fabrazyme®(ファブラザイム)の売上高は、12.2%増の 3 億 1,600 万ユーロでした。

第 2 四半期における Myozyme®(マイオザイム)/Lumizyme®の売上高は、米国(15.7%増の 5,800 万ユーロ)および欧州(11.7%増の 8,400 万ユーロ)に牽引され、13.9%増の 1 億 8,200 万ユーロとなりました。同製品の新興市場での売上高は、7.1%増の 2,600 万ユーロとなりました。上半期における Myozyme®(マイオザイム)/Lumizyme®の売上高は、11.2%増の 3 億 4,800 万ユーロでした。

多発性硬化症製品群

純売上高 (単位:100 万ユーロ)	2016 年度 第 2 四半期	前年同期比 (CER)	2016 年度 上半期	前年同期比 (CER)
Aubagio®	315	+58.3%	594	+61.0%
Lemtrada®	108	+100.0%	196	+113.8%
多発性硬化症合計	423	+67.3%	790	+71.6%

第 2 四半期における Aubagio®の売上高は、米国(55.6%増の 2 億 1,600 万ユーロ)および欧州(68.8%増の 8,000 万ユーロ)に牽引され、58.3%増の 3 億 1,500 万ユーロとなりました。上半期における Aubagio®の売上高は、61.0%増の 5 億 9,400 万ユーロでした。

第 2 四半期における Lemtrada®の売上高は、米国の 5,600 万ユーロ(96.6%増)および欧州(主に英国とドイツ)の 4,000 万ユーロ(前年同期は 2,100 万ユーロ)を含め、1 億 800 万ユーロ(前年同期は 5,600 万ユーロ)となりました。上半期における Lemtrada®の売上高は、前年同期の 9,400 万ユーロに対し、1 億 9,600 万ユーロとなりました。

オンコロジー製品群

純売上高 (単位:100 万ユーロ)	2016 年度 第 2 四半期	前年同期比 (CER)	2016 年度 上半期	前年同期比 (CER)
Jevtana®(ジェブタナ)	88	+8.5%	178	+12.6%
Thymoglobulin®(サイモグロブリン)	69	+4.3%	134	+10.5%
Taxotere®(タキソテール)	46	-21.0%	92	-16.5%
Eloxatin®	44	-15.8%	86	-17.1%
Mozobil®	37	+11.4%	72	+7.2%
Zaltrap®	17	-15.0%	34	-15.0%
オンコロジー合計	363	-3.6%	721	-1.2%

第 2 四半期におけるオンコロジー製品の売上高は、Taxotere®(タキソテール)および Eloxatin®の売上高減少の影響を受け、3.6%減の 3 億 6,300 万ユーロとなりました。上半期におけるオンコロジー製品の売上高は、1.2%減の 7 億 2,100 万ユーロでした。

第 2 四半期における Jevtana®(ジェブタナ)(一般名:カバジタキセル)の売上高は、米国(12.1%増の 3,700 万ユーロ)および日本に牽引され、8.5%増の 8,800 万ユーロとなりました。上半期における Jevtana®(ジェブタナ)の売上高は、12.6%増の 1 億 7,800 万ユーロでした。

第 2 四半期における Thymoglobulin®(サイモグロブリン)の売上高は、米国での業績(7.9%増の 3,900 万ユーロ)を反映し、4.3%増の 6,900 万ユーロとなりました。上半期における Thymoglobulin®(サイモグロブリン)の売上高は、10.5%増の 1 億 3,400 万ユーロでした。

第 2 四半期における Eloxatin®の売上高は、カナダでのジェネリック医薬品との競合によって中国での業績が相殺されたことを反映し、15.8%減の 4,400 万ユーロとなりました。期中における Taxotere®(タキソテール)(一般名:ドセタキセル)の売上高は、特に日本でのジェネリック医薬品との競合によって中国での業績が相殺された影響を受け、21.0%減の 4,600 万ユーロと

なりました。上半期における Taxotere[®] (タキソテール) の売上高は、16.5%減の 9,200 万ユーロ、Eloxatin[®] の売上高は、17.1%減の 8,600 万ユーロでした。

糖尿病製品群

純売上高 (単位:100 万ユーロ)	2016 年度 第 2 四半期	前年同期比 (CER)	2016 年度 上半期	前年同期比 (CER)
Lantus [®] (ランタス)	1,465	-11.2%	2,860	-11.1%
Toujeo [®] (ランタス XR)	141	ns	244	ns
グラルギン製品合計	1,606	-3.5%	3,104	-4.3%
Amaryl [®] (アマリール)	93	-9.2%	181	-7.3%
Apidra [®] (アピドラ)	93	+3.2%	178	0.0%
Insuman [®]	34	+8.8%	66	+4.5%
BGM (血糖測定器)	17	+6.3%	34	+6.3%
Lyxumia [®] (リキスミア)	8	-10.0%	17	0.0%
糖尿病合計	1,857	-3.2%^(a)	3,591	-3.8%^(b)

(a) ベネズエラを除くと 2.0%減; (b) ベネズエラを除くと 2.8%減

第 2 四半期における糖尿病製品群の売上高は、米国で Lantus[®] (ランタス) の売上高が減少したことを反映し、3.2%減の 18 億 5,700 万ユーロとなりました。第 2 四半期における米国での糖尿病製品群の売上高は、7.1%減の 10 億 3,300 万ユーロでした。米国以外の糖尿病製品群の売上高は、新興市場 (5.0%増 (ベネズエラを除くと 11.7%増) の 3 億 5,800 万ユーロ) に牽引され、2.0%増の 8 億 2,400 万ユーロとなりました。欧州での売上高は、Toujeo[®] (ランタス XR) によって Lantus[®] (ランタス) の売上高減少が十分に補われたことを反映し、0.9%増の 3 億 3,800 万ユーロとなりました。上半期における糖尿病製品群の売上高は、3.8%減の 35 億 9,100 万ユーロでした。

第 2 四半期におけるサノフィのグラルギン製品群 (Lantus[®] (ランタス) および Toujeo[®] (ランタス XR)) の売上高は、3.5%減の 16 億 600 万ユーロでした。米国におけるサノフィのグラルギン製品群の売上高は、6.7%減の 10 億 200 万ユーロでした。欧州におけるサノフィのグラルギン製品群の売上高は、複数の欧州市場でグラルギンのバイオンミラー製剤が発売されたにもかかわらず、1.2%増の 2 億 5,500 万ユーロとなりました。上半期におけるサノフィのグラルギン製品群の売上高は、4.3%減の 31 億 400 万ユーロでした。

期中における Lantus[®] (ランタス) の売上高は、11.2%減の 14 億 6,500 万ユーロとなりました。米国では、主に平均卸値の低下と患者の Toujeo[®] (ランタス XR) への切り替えを反映し、Lantus[®] (ランタス) の売上高が 15.7%減の 8 億 9,600 万ユーロとなりました。第 2 四半期における欧州での Lantus[®] (ランタス) の売上高は、9.1%減の 2 億 2,800 万ユーロとなった一方で、新興市場の売上高は、中国に牽引され 5.3%増 (ベネズエラを除くと 9.8%増) の 2 億 5,000 万ユーロとなりました。上半期における Lantus[®] (ランタス) の売上高は、11.1%減の 28 億 6,000 万ユーロとなりました。

第 2 四半期における Toujeo[®] (ランタス XR) の売上高は、1 億 4,100 万ユーロであり、そのうち 1 億 600 万ユーロが米国、2,700 万ユーロが欧州で計上されました。この製品は世界的な展開が進められており、サノフィは 2016 年末までに 40 カ国以上で Toujeo[®] (ランタス XR) が販売されると予測しています。上半期における Toujeo[®] (ランタス XR) の売上高は、2 億 4,400 万ユーロでした。

第 2 四半期における Amaryl[®] (アマリール) の売上高は、9.2%減 (ベネズエラを除くと 2.1%増) の 9,300 万ユーロであり、そのうち 7,400 万ユーロ (6.9%減) が新興市場で計上されました。ベネズエラを除くと、新興市場における Amaryl[®] (アマリール) の売上高は、8.0%増でした。上半期における Amaryl[®] (アマリール) の純売上高は、7.3%減の 1 億 8,100 万ユーロでした。

第 2 四半期における Apidra[®] (アピドラ) の売上高は、米国での売上高減少 (11.8%減の 3,000 万ユーロ) が新興市場の業績 (27.8%増の 2,000 万ユーロ) によって十分に補われ、3.2%増の 9,300 万ユーロとなりました。上半期における Apidra[®] (アピドラ) の売上高は、前年同期並みの 1 億 7,800 万ユーロでした。

循環器製品群

Praluent[®] (一般名: アリロクマブ、Regeneron 社と共同開発) は米国では 2015 年、複数の欧州市場では 2015 年と 2016 年に発売されました。第 2 四半期における Praluent[®] の売上高は 2,100 万ユーロであり、そのうち 1,800 万ユーロが米国、300 万ユーロが欧州で計上され、同製品は最近、英国、ドイツ、スペイン、オランダ、北欧諸国を含む数カ国で発売されました。上半期における Praluent[®] の売上高は、現在の保険支払者の制約を反映し、立ち上がりが抑制され、3,300 万ユーロとなりました。

Multaq[®] の第 2 四半期の売上高は 1.1%減の 8,400 万ユーロ、上半期の売上高は 0.6%増の 1 億 7,000 万ユーロでした。

エスタブリッシュ処方製品

純売上高 (単位:100万ユーロ)	2016年度 第2四半期	前年同期比 (CER)	2016年度 上半期	前年同期比 (CER)
Plavix [®] (プラビックス)	392	-25.7%	780	-22.2%
Lovenox [®]	414	+0.5%	818	-1.7%
Renvela [®] /Renagel [®] (レナジェル)	208	-7.4%	442	-2.4%
Aprovel [®] /Avapro [®]	175	-16.1% ^(a)	344	-14.6% ^(b)
Synvisc [®] (サイビスク)/Synvisc-One [®]	109	-3.4%	197	0.0%
Myslee [®] (マイスリー)/Ambien [®] /Stilnox [®]	78	+5.4%	148	0.0%
Allegra [®] (アレグラ)	39	-2.7%	114	-7.7%
その他	1,202	-7.4% ^(c)	2,365	-7.7% ^(d)
エスタブリッシュ処方製品合計	2,617	-9.7%^(e)	5,208	-9.0%^(f)

(a) ベネズエラを除くと1.1%減;(b) ベネズエラを除くと1.9%減;(c) ベネズエラを除くと4.5%減;(d) ベネズエラを除くと4.1%減;(e) ベネズエラを除くと6.6%減;(f) ベネズエラを除くと5.7%減

第2四半期におけるエスタブリッシュ処方製品の売上高は、ベネズエラでの売上高減少と日本でのPlavix[®](プラビックス)におけるジェネリック医薬品との競合を反映し、9.7%減の26億1,700万ユーロとなりました。ベネズエラを除くと、エスタブリッシュ処方製品の売上高は、6.6%減でした。新興市場におけるエスタブリッシュ処方製品の売上高は、7.7%減(ベネズエラを除くと1.5%増)の9億4,100万ユーロとなりました。欧州でのエスタブリッシュ処方製品の売上高は3.0%減の9億4,200万ユーロ、米国での売上高は8.3%減の3億7,400万ユーロでした。上半期におけるエスタブリッシュ処方製品の売上高は、9.0%減(ベネズエラを除くと5.7%減)の52億800万ユーロとなりました。

第2四半期におけるLovenox[®]の売上高は、0.5%増(ベネズエラを除くと1.6%増)の4億1,400万ユーロとなりました。新興市場におけるLovenox[®]の売上高は、2.4%増(ベネズエラを除くと6.6%増)の1億1,300万ユーロとなりました。欧州における同製品の売上高は、0.8%減の2億6,200万ユーロとなりました。7月、エノキサパリンナトリウムを含有する2つのバイオシミラーが欧州医薬品庁(EMA)の医薬品委員会(CHMP)より肯定的見解を取得しました。上半期におけるLovenox[®]の売上高は、1.7%減(ベネズエラを除くと0.7%減)の8億1,800万ユーロでした。

第2四半期におけるPlavix[®](プラビックス)の売上高は、2015年6月に日本で生じたジェネリック医薬品との競合(日本での売上高は59.1%減の9,300万ユーロ)が中国(10.4%増の1億7,700万ユーロ)での成長によって部分的に相殺されたことを反映し、25.7%減の3億9,200万ユーロとなりました。上半期におけるPlavix[®](プラビックス)の売上高は、22.2%減の7億8,000万ユーロでした。

第2四半期におけるRenvela[®]/Renagel[®](レナジェル)の売上高は、7.4%減の2億800万ユーロでした。米国における同製品の売上高は、0.6%減の1億7,000万ユーロでした。同製品のジェネリック医薬品は、現在、一部の欧州諸国で販売されており、これを受けて欧州におけるRenvela[®]/Renagel[®](レナジェル)の売上高は、32.3%減の2,100万ユーロとなりました。サノフィは、2016年に米国でジェネリック医薬品との競合が生じるものと予測しています。上半期におけるRenvela[®]/Renagel[®](レナジェル)の売上高は、2.4%減の4億4,200万ユーロでした。

第2四半期におけるAprovel[®]/Avapro[®]の売上高は、16.1%減の1億7,500万ユーロとなりました。ベネズエラを除くと、Aprovel[®]/Avapro[®]の売上高は、1.1%減となりました。上半期におけるAprovel[®]/Avapro[®]の売上高は、14.6%減(ベネズエラを除くと1.9%減)の3億4,400万ユーロとなりました。

Auvi-Q[®]およびAllerject[®]の2015年第2四半期の売上高は3,500万ユーロ、上半期の売上高は5,200万ユーロでした。サノフィは現在、米国でこの製品の販売を行っておらず、米国では2016年に売上高は計上されていません。

コンシューマー・ヘルスケア

純売上高 (単位:100万ユーロ)	2016年度 第2四半期	前年同期比 (CER)	2016年度 上半期	前年同期比 (CER)
Allegra [®] (アレグラ)	97	-11.2%	237	-5.0%
Doliprane [®]	77	+11.4%	154	0.0%
Enterogermina [®]	43	+27.8%	85	-3.2%
Essentiale [®]	32	-22.2%	71	-17.9%
Nasacort [®]	23	-25.0%	68	-6.8%
Lactacyd [®] (ラクタシード)	22	-42.9%	41	-32.4%

Maalox®	21	-15.4%	45	-11.1%
No Spa®	19	0.0%	40	+2.3%
Magne B6®	16	-19.0%	36	-4.9%
Dorflex®	15	-15.0%	34	-2.3%
その他の CHC 製品	435	+0.9%	894	0.0%
コンシューマー・ヘルスケア合計	800	-4.3%^(a)	1,705	-3.6%^(b)

(a) ベネズエラを除くと 0.6%増; (b) ベネズエラを除くと 1.5%増

第 2 四半期におけるコンシューマー・ヘルスケア (CHC) 製品の売上高は、4.3%減の 8 億ユーロとなりました。ベネズエラおよび小型製品の取り止めを除くと、CHC 製品の売上高は、オーストラリア、メキシコ、およびアルゼンチンの業績がロシアによって部分的に相殺されたことを受けて、2.7%増となりました。第 2 四半期における CHC 製品の米国での売上高は、アレルギーシーズンが前年度よりも穏やかだったため Allegra® (アレグラ) の売上高が影響を受けた (18.3%減の 5,600 万ユーロ) ことを反映し、0.8%減の 2 億 2,900 万ユーロとなりました。新興市場での売上高は、ロシアでの売上高減少を反映し、13.0%減 (ベネズエラを除くと 1.8%減) の 2 億 8,900 万ユーロとなりました。第 2 四半期におけるその他の国での売上高は、オーストラリアのアレルギー製品群およびビタミン事業に維持され、18.0%増の 6,900 万ユーロでした。期中における欧州の売上高は、DTC キャンペーンの成功を受けて好調な Doliprane® の業績に支えられ、(小型製品の取り止めの影響を受け) 0.9%増の 2 億 1,300 万ユーロとなりました。上半期における CHC の売上高は、3.6%減 (ベネズエラと小型製品の取り止めの影響を除くと 3.4%増) の 17 億 500 万ユーロでした。

2016 年 6 月 27 日、サノフィとベーリンガーインゲルハイム社は、2015 年 12 月から交渉を行っていた戦略的な事業交換 (サノフィの動物用医薬品事業とベーリンガーインゲルハイム社のコンシューマー・ヘルスケア事業の交換) に合意し、契約を締結しました。これは 2016 年末に予定している事業統合のクロージング前の大きな節目となりますが、その間に各国の全ての関係当局から承認を得ることが条件となります。

ジェネリック医薬品

第 2 四半期におけるジェネリック医薬品の売上高は、1.9%減の 4 億 7,400 万ユーロでした。ベネズエラを除くと、売上高は、新興市場 (8.2%増) によって日本における Plavix (プラビックス) のオーソライズドジェネリック医薬品の売上高減少が相殺されたことに牽引され、0.4%増となりました。上半期におけるジェネリック医薬品の売上高は、0.6%増の 9 億 3,300 万ユーロ (ベネズエラを除くと 3.3%増) でした。

ワクチン

純売上高 (単位: 100 万ユーロ)	2016 年度 第 2 四半期	前年同期比 (CER)	2016 年度 上半期	前年同期比 (CER)
ポリオ・百日咳・インフルエンザ菌 b 型 (ヒブ) ワクチン (Pentacel®、Pentaxim®、および Imovax® (イモバックス) を含む)	339	+28.6%	627	+17.1%
髄膜炎・肺炎ワクチン (Menactra® (メナクトラ) を含む)	139	-1.4%	261	+10.3%
成人用ブースター (追加接種) ワクチン (Adacel® を含む)	104	-9.3%	184	-12.2%
インフルエンザワクチン (Vaxigrip® と Fluzone® を含む)	96	-10.5%	116	-8.1%
トラベラーズワクチンおよびその他風土病用ワクチン	101	+7.2%	184	+6.1%
Dengvaxia®	1	-	20	-
その他のワクチン	17	-36.7%	30	-34.7%
ワクチン合計 (連結売上高)	797	+6.3%^(a)	1,422	+7.1%^(b)

*VaxServe 売上高の新しい表示に基づく比較 (下記参照)

(a) ベネズエラを除くと 7.0%増; (b) ベネズエラを除くと 7.8%増

VaxServe の売上高

VaxServe は、ワクチンセグメントの米国事業体です。VaxServe の事業活動には、米国におけるサノフィパストールの重点対象ではないチャネルでの製品の販売が含まれます。VaxServe は、第三者メーカーのワクチンやその他の製品も取り扱うことにより、サノフィパストールの製品群を補完しています。従来、VaxServe のすべての売上高は、純売上高の項目に計上されてきました。

より関連性の高い情報を掲載するため、2016年1月1日より、VaxServeによるグループ製品以外の売上高は、損益計算書のその他収益の項目に計上されます。それに応じて、前期の比較対象の純売上高がその他収益の項目に再分類されています。

この再分類を反映した2015年度の四半期および通年の損益計算書ならびに各GBUおよび製品群の地域別売上高は、サノフィのウェブサイトのInvestorsセクションから入手できます。

VaxServeによるグループ製品以外の売上高⁽⁹⁾は、2015年度第2四半期は1億1,000万ユーロ、2015年度通年は4億8,200万ユーロでした。

ワクチン

第2四半期におけるワクチンの連結売上高は、新興市場のポリオ・百日咳・インフルエンザ菌b型(ヒブ)ワクチン製品群、およびトラベラーズワクチンおよびその他風土病用ワクチンに牽引され、6.3%増の7億9,700万ユーロとなりました。第2四半期における米国でのワクチンの売上高は、Adacel[®]に対する競争圧力が高まり、2016年度第1四半期に米国での米国疾病管理予防センター(CDC)の受注時期の調整が有利となったことを反映してMenactra[®](メナクトラ)の売上高が減少したことを受け、2.3%減の3億3,100万ユーロとなりました。新興市場におけるワクチンの売上高は、Pentaxim[®]とHexaxim[®]の成長に牽引され、9.8%増となりました。上半期におけるサノフィパストールの売上高は、7.1%増の14億2,200万ユーロでした。

第2四半期におけるポリオ・百日咳・インフルエンザ菌b型(ヒブ)ワクチンの売上高は、28.6%増の3億3,900万ユーロでした。新興市場における同製品群の売上高は、中東、アフリカ、トルコ、およびメキシコでのPentaxim[®]とHexaxim[®]の成長に牽引され、43.6%増の1億7,800万ユーロとなりました。この業績によって、中国での現地市場の混乱によるPentaxim[®]およびポリオワクチンの減少が十分に補われました。米国におけるポリオ・百日咳・インフルエンザ菌b型(ヒブ)ワクチンの売上高は、IPVワクチンの売上高が微減したことを反映し、1.1%減の8,800万ユーロとなりました。米国におけるPentacel[®]の売上高は、1.8%増の5,600万ユーロでした。以前に発表したとおり、サノフィパストールは、Pentacel[®]の生産計画に遅れが生じており、現在の需要すべてを満たすことはできません。供給は、2016年下半期に改善する見込みです。上半期におけるポリオ・百日咳・インフルエンザ菌b型(ヒブ)ワクチンの売上高は、17.1%増の6億2,700万ユーロでした。

(9) 2016年度第2四半期および上半期におけるVaxServeの売上高は、業績の項目に記載されています。

世界初の Dengvaxia[®] は現在、5カ国(メキシコ、フィリピン、ブラジル、エルサルバドル、コスタリカ)で承認されています。Dengvaxia[®] は、第1四半期にフィリピンで、7月にエルサルバドルで発売されました。さらに7月下旬、ブラジル・パラナ州の公的予防接種プログラムが発表され、50万人が対象となる見込みです。これらの動向にもかかわらず、中南米における最近の政治的変化と経済変動を受けて、Dengvaxia[®]の全体的な立ち上がりは遅れています。現時点までに、流行国において確定している公的予防接種プログラムは限られており、アジアでは、依然として大部分の規制当局の承認を待っている状態であるため、以前にサノフィが発表したDengvaxia[®]の2016年度売上高予測は未達となる見通しです。第2四半期におけるDengvaxia[®]の売上高は、フィリピンの任意接種市場の売上高に限定されています。上半期におけるDengvaxia[®]の売上高は、2016年度第1四半期にフィリピンで実施された初の公的 Dengvaxia[®] 予防接種プログラムの初回接種分の売上高に対応する2,000万ユーロとなりました。

インフルエンザワクチンの売上高は、ブタンタン研究所の供給が増加したことによるブラジルでの売上高減少を反映し、10.5%減の9,600万ユーロとなりました。

第2四半期におけるMenactra[®](メナクトラ)の売上高は、2016年度第1四半期に米国での米国疾病管理予防センター(CDC)の受注時期の調整が有利となったことを反映し、3.0%減の1億2,600万ユーロとなりました。上半期におけるMenactra[®](メナクトラ)の売上高は、10.0%増の2億3,700万ユーロでした。

第2四半期における成人用ブースターワクチンの売上高は、米国でAdacel[®]の競争圧力が高まったことを反映し、9.3%減の1億400万ユーロとなりました。上半期における成人用ブースターワクチンの売上高は、12.2%減の1億8,400万ユーロでした。

第2四半期におけるトラベラーズワクチンおよびその他風土病用ワクチンの売上高は、狂犬病ワクチンと腸チフスワクチンの売上高増に牽引され、7.2%増の1億100万ユーロとなりました。上半期におけるトラベラーズワクチンおよびその他風土病用ワクチンの売上高は、6.1%増の1億8,400万ユーロでした。

欧州におけるメルク社とのジョイントベンチャーであるサノフィパストールMSD(サノフィに非連結)の第2四半期の売上高は、前年同期比(調整前)9.0%増の1億7,500万ユーロ、上半期の売上高は、前年同期比(調整前)13.4%増の3億4,000万ユーロとなりました。3月、サノフィパストールとメルク社は、欧州での共同ワクチン事業であるサノフィパストールMSDを終了し、欧州においてそれぞれ独自の成長戦略を追求する意向であることを発表しました。サノフィパストールとメルク社は、現地の労働法規に従い、規制当局の承認を得ることを条件として、このプロジェクトが2016年度末までに完了する見込みとしています。

動物用医薬品⁽¹⁰⁾

純売上高 (単位:100万ユーロ)	2016年度 第2四半期	前年同期比 (CER)	2016年度 上半期	前年同期比 (CER)
コンパニオンアニマル	493	+8.6%	1,022	+14.2%
産業動物	232	+10.1%	463	+11.1%
動物用医薬品合計	725	+9.1%	1,485	+13.2%
－ワクチン	205	+4.9%	417	+11.3%
－フィプロニル製品	169	-10.3%	350	-7.5%
－アベルメクチン製品	142	+12.2%	312	+10.4%

第2四半期における動物用医薬品の売上高は、米国、欧州および日本におけるメアルの次世代の犬用ノミ・マダニ駆除薬である NexGuard[®](ネクスガード)製品群の成功に支えられ、9.1%増の7億2,500万ユーロとなりました。

第2四半期におけるコンパニオンアニマル・セグメントの売上高は、NexGuard[®](ネクスガード)および NexGuard[®] Spectra(ネクスガード スペクトラ)の成功が Frontline[®](フロントライン)製品群の減少を十分に補ったことに支えられ、8.6%増の4億9,300万ユーロとなりました。HeartGuard[®](カルドメック)も、コンパニオンアニマル・セグメントの成長に貢献しました。

第2四半期における産業動物セグメントの売上高は、新興市場における家禽事業と、米国および欧州における反芻動物事業の好業績を反映し、10.1%増の2億3,200万ユーロとなりました。

(10) IFRS 第5号(売却するために保留している固定資産および廃止事業)に従い、連結損益計算書で単一項目として報告される動物用医薬品事業を含みます。メアラルは IFRS 第8号に沿った営業部門として存続するため、引き続きサノフィが動物用医薬品事業の業績を管理および報告します。

地域別カンパニー売上高総計

サノフィ売上高総計(単位:100万ユーロ)	2016年度 第2四半期	前年同期比 (CER)	2016年度 上半期	前年同期比 (CER)
米国	3,118	+1.3%	6,084	+1.4%
新興市場 ^(a)	2,534	-0.5%	4,907	+1.7%
－中南米	698	-15.1%	1,269	-15.0%
－アジア	804	+5.3%	1,637	+10.2%
－アフリカ、中東、および南アジア ^(b)	736	+10.3%	1,404	+11.0%
－ユーラシア ^(c)	270	+4.3%	529	+6.9%
欧州 ^(d)	2,360	+3.3%	4,732	+2.5%
その他の国 ^(e)	856	-12.3%	1,688	-12.8%
－日本	446	-24.4%	893	-24.9%
サノフィ売上高総計	8,868	-0.2%	17,411	+0.2%

(a) 米国、カナダ、西欧・東欧諸国(ユーラシアを除く)、日本、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、プエルトリコを除く各国

(b) インド、パキスタン、バングラデシュ、スリランカ

(c) ロシア、ウクライナ、ジョージア、ベラルーシ、アルメニア、およびトルコ

(d) 西欧・東欧諸国(ユーラシアを除く)

(e) 日本、韓国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、プエルトリコ

第2四半期における米国の売上高総計は、1.3%増の31億1,800万ユーロでした。多発性硬化症製品群(62.6%増)、希少疾患製品群(12.3%増)、および動物用医薬品(4.6%増)の業績が糖尿病製品群(7.1%減)、ワクチン(2.3%減)、および Auvi-Q[®]の売上高減少の影響を十分に補いました。

上半期における米国の売上高は、1.4%増の60億8,400万ユーロでした。

第2四半期における新興市場の売上高総計は、0.5%減の25億3,400万ユーロとなりました。ベネズエラを除くと、新興市場の売上高総計は、糖尿病(11.7%増)、希少疾患(28.2%増)、ワクチン(11.5%増)および動物用医薬品(15.6%増)に牽引され、6.7%増となりました。第2四半期におけるアジアの売上高総計は、5.3%増の8億400万ユーロとなりました。期中における中国の売上高は、医薬品事業の好業績(11.7%増)がワクチンの売上高減少(84.9%減)によって部分的に相殺され、2.6%増の5億1,200万ユーロとなりました。第2四半期における中南米の売上高総計は、アルゼンチン、コロンビア、およびメキシコの売上高に牽引され、15.1%減(ベネズエラを除くと5.7%増)の6億9,800万ユーロとなりました。ブラジルの売上高総計は、イ

ンフルエンザワクチンおよび Renagel[®](レナジェル)の売上高減少の影響を受け、3.3%減の 2 億 8,000 万ユーロとなりました。ユーラシア地域の売上高総計は、トルコに牽引され、4.3%増の 2 億 7,000 万ユーロとなりました。ロシアの売上高は、CHC 事業に関連し、12.6%減の 1 億 1,000 万ユーロでした。アフリカ、中東、および南アジアの売上高総計は、アフリカの好業績(16.6%増)に支えられ、10.3%増の 7 億 3,600 万ユーロとなりました。上半期における新興市場の売上高は、1.7%増の 49 億 700 万ユーロとなりました。ベネズエラを除くと、上半期における新興市場の売上高総計は、9.7%増でした。

第 2 四半期における欧州の売上高は、3.3%増の 23 億 6,000 万ユーロとなりました。多発性硬化症(78.3%増)、希少疾患(10.7%)、およびワクチン(34.9%増)製品群の業績は、主に Renagel[®](レナジェル)におけるジェネリック医薬品との競合の影響を受けたエスタブリッシュ処方製品(3.0%減)の売上高減少によって部分的に相殺されました。上半期における欧州の売上高は、2.5%増の 47 億 3,200 万ユーロでした。

第 2 四半期における日本の売上高総計は、Plavix[®](プラビックス)におけるジェネリック医薬品との競合の影響(59.1%減)を受け、24.4%減の 4 億 4,600 万ユーロとなりました。上半期における日本の売上高は、24.9%減の 8 億 9,300 万ユーロでした。

研究開発の最新情報

サノフィの研究開発パイプラインの全容については、付録 8 をご参照ください。

薬事関連の最新情報

2016 年 4 月 29 日の 2016 年度第 1 四半期業績発表以降、以下の薬事関連の出来事がありました。

- 7 月、日本の厚生労働省は、一部の心血管リスクの高い高コレステロール血症の成人患者におけるコントロール不良の低比重リポ蛋白(LDL)コレステロールの治療薬として、Praluent[®](ラルエント)(一般名:アリロクマブ)の製造販売を承認しました。Praluent[®] 300 mg の月 1 回投与については、米国および EU でも申請済みです。
- 7 月、欧州医薬品庁(EMA)が関節リウマチにおける sarilumab の販売承認申請(MAA)を受理しました。
- 5 月、米国食品医薬品局(FDA)の内分泌代謝薬諮問委員会(EMDAC)は、2 型糖尿病の成人患者の治療薬として Adlyxin[®](一般名:リキシセナチド)、および基礎インスリン グラルギン 100 単位/mL と GLP-1 受容体作動薬であるリキシセナチドの固定比率合剤について、新薬承認申請(NDA)の承認⁽¹¹⁾を勧告しました。この基礎インスリン グラルギンと GLP-1 受容体作動薬リキシセナチドの固定比率合剤は、現在 FDA が審査中であり、2016 年 8 月に決定が下される見通しです。Adlyxin[®](一般名:リキシセナチド)は、7 月末に米国で承認されました。

2016 年 7 月末時点の研究開発パイプラインは、44 の新規分子化合物(ライフサイクルマネジメントを除く)および臨床開発段階にあるワクチンの候補から構成され、そのうち 14 は第 III 相あるいは規制当局に承認申請を行っている段階にあります。

ポートフォリオの最新情報

第 III 相:

- 6 月、現在開発中の成人 2 型糖尿病患者を対象とし用量調節が可能なインスリン グラルギン 100 単位/mL とリキシセナチドの固定比率合剤を検討した主要第 III 相試験である LixiLan-O 臨床試験と LixiLan-L 臨床試験の結果を米国糖尿病学会議(ADA 2016)にて発表しました。いずれの試験とも主要評価項目を達成し、用量調節が可能な配合剤はリキシセナチド、インスリン グラルギン 100 単位/mL のそれぞれの対照薬と比べ、HbA1c の低下度が有意に大きいことが立証されました。
- 6 月、サノフィと Regeneron 社は、開発中の dupilumab を評価する LIBERTY AD CHRONOS 試験と呼ばれる 1 年間の第 III 相試験において、主要評価項目と主な副次的項目が達成されたことを発表しました。試験では、中等症および重症のアトピー性皮膚炎(AD)成人患者を対象に、dupilumab と局所外用副腎皮質ホルモン剤(TCS)の併用療法を TCS のみの治療と比較しました。試験に登録した患者は、外用カルシニューリン阻害剤の併用の有無を問わず、TCS でコントロール不良の患者でした。dupilumab と TCS を併用すると、プラセボと TCS を併用した場合と比較して、16 週目および 52 週目の時点の全般的な疾患の重症度が有意に改善しました。
- 化学療法未治療の転移性去勢抵抗性前立腺がんにおいて、Jevtana[®](一般名:カバジタキセル)と Taxotere[®](一般名:ドセタキセル)を比較評価する第 III 相 FIRSTANA 試験の結果に基づき、新たな適応に必要なレベルのベネフィット

トが得られなかったため、Jevtana[®]を一次治療薬とする承認申請を行わないことを決定しました。現在、Jevtana[®]は二次治療薬として承認されており、FIRSTANA 試験は、FDA との市販後コミットメントの一環として実施されました。

第 II 相:

- PD-1 阻害剤 (Regeneron 社と開発中) の **SAR439684** が進行性皮膚扁平上皮がんを対象とする第 II 相に入りました。

第 I 相:

- 糖尿病における安定化グルカゴンアナログである **SAR438544** の開発中止を決定しました。

(11) 諮問委員会メンバーは 12 対 2 で LixiLan の承認に投票

2016 年度第 2 四半期および上半期の業績総計⁽¹²⁾

事業純利益⁽¹²⁾

2016 年度第 2 四半期におけるサノフィの**売上高総計**は、4.3%減(為替レート変動の影響を排除した場合は 0.2%減)の 88 億 6,800 万ユーロとなりました。上半期における売上高総計は、前年同期比(調整前)3.2%減(為替レート変動の影響を排除した場合は 0.2%増)の 174 億 1,100 万ユーロとなりました。

その他収益総計は、10.4%減の 1 億 7,300 万ユーロとなりました。これには、2016 年 1 月 1 日付の表示変更に伴い、VaxServe によるサノフィ製品以外の売上高(19.1%減の 8,900 万ユーロ)が含まれます⁽¹³⁾。為替レート変動の影響を排除した場合、その他収益総計は 8.3%減でした。上半期におけるその他収益総計は、12.1%減の 3 億 2,800 万ユーロとなりました。このうち 1 億 7,200 万ユーロ(18.1%減)は VaxServe から生じたものです。

第 2 四半期における**売上総利益総計**は、3.8%減(為替レート変動の影響を排除した場合は 0.2%増)の 62 億 7,600 万ユーロとなりました。売上総利益率総計は、前年同期と比較し 0.4 ポイント改善し 70.8%となりました。多発性硬化症製品群、中国の医薬品領域、生産性によるプラス影響は、米国の糖尿病領域および日本での Plavix[®](プラビックス)のジェネリック医薬品との競合によるマイナス影響によってほぼ相殺されました。サノフィは、2016 年度の売上総利益総計が 69%~70%(為替レート変動の影響を排除した場合)となるものと予想しています。2016 年度上半期の売上総利益率総計は、前年同期と比較し 0.3 ポイント改善し 70.5%となりました。

第 2 四半期における**研究開発費総計**は、2.7%増の 13 億 2,500 万ユーロとなりました。為替レート変動の影響を排除した場合、特に Regeneron 社との新たながん免疫領域の提携を反映して、研究開発費総計は 4.6%増となりました。2016 年度上半期の売上高総計に占める研究開発費総計の割合は、前年同期比で 1.2 ポイント増加し 15.0%となりました。

第 2 四半期における**販売費および一般管理費(SG&A)総計**は、0.1%増の 26 億 5,000 万ユーロでした。為替レート変動の影響を排除した場合、SG&A 総計は、米国での Praluent[®]の発売コストおよび sarilumab と dupilumab の発売前コストを反映して、3.9%増となりました。第 2 四半期の売上高総計に占める SG&A 総計の割合は、前年同期比で 1.3 ポイント増加し、29.9%となりました。2016 年度上半期の売上高総計に占める SG&A 総計の割合は、前年同期比で 0.8 ポイント増加し、29.1%となりました。

第 2 四半期における**その他の当期営業収益(費用控除後)総計**は、前年同期の 2,000 万ユーロの損失に対し、2,300 万ユーロの損失となりました。2015 年度第 2 四半期のこの項目には、ベネズエラでの業務に関連して計上された 3,400 万ユーロの為替損が含まれています。上半期における**その他の当期営業収益(費用控除後)総計**は、前年同期の 8,700 万ユーロの損失に対し、5,600 万ユーロの収益となりました。

第 2 四半期における**関連会社持分利益総計**は、前年同期並みの 3,000 万ユーロでした。関連会社持分利益総計には、Regeneron 社の利益に占める当社の持分、および欧州におけるメルク社とのワクチン関連ジョイントベンチャーであるサノフィ パスツール MSD の利益に占める当社の持分が含まれています。上半期における関連会社持分利益は、前年同期の 6,100 万ユーロに対し、5,300 万ユーロとなりました。

第 2 四半期における**非支配株主に帰属する純利益総計**は、前年同期の 2,900 万ユーロの損失に対し、2,300 万ユーロの損失となりました。上半期における非支配株主に帰属する純利益は、前年同期の 6,200 万ユーロの損失に対し、5,000 万ユーロの損失となりました。

事業営業利益総計は、11.0%減の 22 億 8,500 万ユーロとなりました。為替レート変動の影響を排除した場合、事業営業利益総計は 5.8%減でした。第 2 四半期の純売上高総計に占める事業営業利益総計の割合は、前年同期比で 1.9 ポイント減少し、25.8%となりました。上半期における事業営業利益総計は、5.9%減(為替レート変動の影響を排除した場合は 1.6%減)の 46 億 6,900 万ユーロとなりました。2016 年度上半期における純売上高総計に占める事業営業利益総計の割合は、0.8 ポイント減少し、26.8%となりました。

第 2 四半期における純財務費用総計は、前年同期の 1 億 1,200 万ユーロに対し、7,600 万ユーロでした。第 2 四半期のこの項目には、小規模な資産売却に対する限定的なキャピタルゲインが含まれています。上半期における純財務費用は、前年同期の 2 億 900 万ユーロに対し、1 億 9,400 万ユーロでした。

(12) 2016 年度第 2 四半期および 2016 年度上半期の連結損益計算書について付録 4、財務指標の定義については付録 10、事業純利益から IFRS 純利益への調整については付録 3 をご参照ください。

(13) 8 ページのワクチンに関する章をご参照ください。

2016 年度第 2 四半期および上半期の実効税率(動物用医薬品を含む)は、前年同期の 25.0%に対し、24.0%でした。

第 2 四半期における事業純利益⁽¹²⁾は、8.7%減(為替レート変動の影響を排除した場合は 3.3%減)の 16 億 8,000 万ユーロとなりました。第 2 四半期の売上高総計に占める事業営業利益の割合は、前年同期比で 1.0 ポイント減少し、18.9%となりました。上半期の事業営業利益は、前年同期比 4.6%減(為替レート変動の影響を排除した場合は前年同期並み)の 34 億 200 万ユーロとなりました。上半期の純売上高に占める事業営業利益の割合は、前年同期比 0.3 ポイント減の 19.5%となりました。

2016 年度第 2 四半期の 1 株当たり事業純利益⁽¹²⁾(EPS)は、為替調整前では 7.1%減、為替レート変動の影響を排除した場合は 2.1%減の 1.31 ユーロとなりました。2016 年度第 2 四半期の期中平均発行済み株式数は、前年同期の 13 億 590 万株に対し、12 億 8,680 万株となりました。2016 年度上半期の 1 株当たり事業純利益⁽¹²⁾は、為替調整前では 3.3%減、為替レート変動の影響を排除した場合は 1.5%増の 2.64 ユーロとなりました。2016 年度上半期の期中平均発行済み株式数は、前年同期の 13 億 720 万株に対し、12 億 8,760 万株となりました。

2016 年度通年の見通し

重大な予期せぬ要因が発生しない限り、2016 年度通年の 1 株当たり事業純利益を CER ベースで概ね一定と予測します。また、2016 年 6 月の平均レートを 2016 年度の今後 2 四半期に適用すると、-4%程度の為替レート変動の影響が 2016 年度通年の 1 株当たり事業純利益に生じると予測されます。

事業純利益から IFRS 純利益への調整(付録 3 を参照)

2016 年度上半期の事業純利益と IFRS 純利益間の主な調整項目は、以下のとおりです。

- 買収企業の無形固定資産の公正価値での再評価(主にアベンティスの 2 億 7,600 万ユーロ、ジェンザイムの 4 億 3,100 万ユーロ)および取得した無形固定資産(ライセンス・製品:6,800 万ユーロ)に関連した償却費、8 億 7,700 万ユーロ。2016 年度第 2 四半期には、買収企業の無形固定資産の公正価値での再評価(主にアベンティスの 1 億 3,600 万ユーロ、ジェンザイムの 2 億 1,300 万ユーロ)および取得した無形固定資産(ライセンス・製品:3,400 万ユーロ)に関連した償却費、4 億 3,300 万ユーロを計上しました。これらの項目によって、カンパニーにキャッシュ面の影響が生じることはありません。
- 小型製品に関連して第 2 四半期に計上された無形固定資産に対する 5,200 万ユーロの減損。この項目によって、カンパニーにキャッシュ面の影響が生じることはありません。
- Lemtrada[®]に関連するバイエル社の偶発対価の増加(4,100 万ユーロの費用。このうち 1,200 万ユーロが 2016 年度第 2 四半期に計上)および CVR 公正価値の調整を反映した 6,700 万ユーロの費用(このうち 3,800 万ユーロが 2016 年度第 2 四半期に計上)。
- 6 億 2,700 万ユーロの事業再編費用(主に欧州および北米の変革に関連する第 2 四半期の 1 億 2,700 万ユーロを含む)。
- 上記項目から生じた 5 億 4,800 万ユーロの税効果(無形固定資産に対する償却費から生じた 3 億 700 万ユーロ、事業再編費用に関連した 2 億 1,000 万ユーロ、無形固定資産の減損損失に関連した 1,600 万ユーロ、および偶発対

償債務の公正価値での再評価に関連した 1,500 万ユーロから構成される)。第 2 四半期の税効果は、無形固定資産に対する償却費から生じた繰延税金 1 億 5,100 万ユーロ、事業再編費用に関連した 3,900 万ユーロ、無形固定資産に対する減損に関連した 1,600 万ユーロを含め、2 億 1,000 万ユーロでした(付録 3 を参照)。

- 「関連会社持分利益」に含まれる、関連会社の資産および負債の公正価値での再評価、ならびに買収した関連会社およびジョイントベンチャーの無形固定資産の償却に関連した 5,400 万ユーロの収益(税控除後)(このうち 1,600 万ユーロの費用が 2016 年度第 2 四半期に発生)。この項目によって、カンパニーにキャッシュ面の影響が生じることはありません。
- サノフィ株主に支払った配当に対する 1 億 1,300 万ユーロの税金
- 動物用医薬品の項目に含まれる、子会社への投資に関連する一時差異は解消されると見込まれることによる繰延税金額の変動から生じる 1,300 万ユーロの費用(このうち 5,800 万ユーロの収益が 2016 年度第 2 四半期に発生)。

(12) 2016 年度第 2 四半期および 2016 年度上半期の連結損益計算書について付録 4、財務指標の定義については付録 10、事業純利益から IFRS 純利益への調整については付録 3 をご参照ください。

資本配分

7 億ユーロの資本支出と 7 億 5,300 万ユーロの運転資本の増加を考慮した 2016 年度上半期における営業活動からの純キャッシュは、17.6%減の 25 億 4,100 万ユーロとなりました。この純キャッシュフローは、株式の買い戻し(14 億 300 万ユーロ)、サノフィが支払った配当(37 億 5,900 万ユーロ)、買収・提携(売却を控除)(6 億 6,300 万ユーロ)、および事業再編費用(3 億 4,700 万ユーロ)のための財源に充当しました。その結果、純負債は、2015 年 12 月 31 日時点の 72 億 5,400 万ユーロから 2016 年 6 月 30 日時点の 110 億 100 万ユーロ(60 億 7,600 万ユーロの現金および現金等価物を控除)へと増加しました。

付録

付録一覧

- 付録 1: 2016 年度第 2 四半期および 2016 年度上半期の GBU 別・製品群別・地域別・製品別純売上高およびカンパニー売上高総計
- 付録 2: 2016 年度第 2 四半期および 2016 年度上半期の損益計算書
- 付録 3: 事業純利益から IFRS 純利益への調整
- 付録 4: 2016 年度第 2 四半期および 2016 年度上半期の連結損益計算書
- 付録 5: 純負債の変動
- 付録 6: 簡易連結貸借対照表
- 付録 7: 2016 年の為替感度
- 付録 8: 研究開発パイプライン
- 付録 9: 見込まれる研究開発マイルストーン
- 付録 10: GAAP(一般会計原則)と異なる財務指標の定義

付録 1: 2016 年度第 2 四半期の GBU 別・製品群別・地域別・製品別純売上高およびカンパニー売上高総計

2016 年度第 2 四半期 (単位:100 万ユーロ)	GBU 合計	前年度比 (CER)	前年度比 調整前	欧州	前年度比 (CER)	米国	前年度比 (CER)	その他	前年度比 (CER)	新興市場	前年度比 (CER)	製品群合計	前年度比 (CER)	前年度比 調整前
Aubagio	306	57.6%	54.5%	80	68.8%	216	55.6%	10	25.0%	9	83.3%	315	58.3%	54.4%
Lemtrada	103	100.0%	94.3%	40	100.0%	56	96.6%	7	133.3%	5	100.0%	108	100.0%	92.9%
多発性硬化症合計	409	66.5%	62.9%	120	78.3%	272	62.6%	17	54.5%	14	88.9%	423	67.3%	62.7%
Cerezyme (セラゼイム)	129	-1.5%	-3.0%	71	0.0%	45	-4.1%	13	0.0%	70	27.3%	199	8.0%	0.0%
Cerdelga (サデルガ)	26	62.5%	62.5%	5	400.0%	20	33.3%	1	-	0	-	26	62.5%	62.5%
Myozyme (マイオザイム)	156	15.3%	13.9%	84	11.7%	58	15.7%	14	44.4%	26	7.1%	182	13.9%	10.3%
Fabrazyme (ファブラザイム)	151	17.1%	17.1%	40	14.3%	85	14.5%	26	33.3%	16	23.5%	167	17.8%	14.4%
Aldurazyme (アウドラザイム)	36	8.8%	5.9%	19	0.0%	11	0.0%	6	100.0%	14	0.0%	50	6.0%	0.0%
希少疾患合計	570	12.5%	11.1%	236	10.7%	249	12.3%	85	18.3%	137	20.9%	707	14.2%	9.3%
Taxotere (タキソテール)	12	-47.8%	-47.8%	1	0.0%	1	0.0%	10	-55.0%	34	-5.1%	46	-21.0%	-25.8%
Jevtana (ジェブタナ)	83	10.8%	12.2%	36	-2.8%	37	12.1%	10	100.0%	5	-12.5%	88	8.5%	7.3%
Eloxatine	7	-66.7%	-70.8%	1	0.0%	0	-100.0%	6	-68.2%	37	21.2%	44	-15.8%	-22.8%
Thymoglobulin (サイモグロブリン)	56	9.4%	5.7%	11	0.0%	39	7.9%	6	50.0%	13	-12.5%	69	4.3%	0.0%
Mozobil	35	9.1%	6.1%	11	10.0%	23	14.3%	1	-50.0%	2	50.0%	37	11.4%	5.7%
Zaltrap	16	-20.0%	-20.0%	12	-7.7%	3	-50.0%	1	0.0%	1	-	17	-15.0%	-15.0%
オンコロジー合計	266	-6.6%	-8.0%	85	-3.4%	142	2.8%	39	-33.3%	97	5.0%	363	-3.6%	-6.9%
サノフィジェンザイム(スペシャルティケア)	1,245	20.1%	18.2%	441	19.9%	663	25.8%	141	-0.7%	248	16.8%	1,493	19.5%	15.1%
Lantus (ランタス)	1,215	-14.2%	-15.8%	228	-9.1%	896	-15.7%	91	-10.6%	250	5.3%	1,465	-11.2%	-14.3%
Apidra (アピドラ)	73	-2.7%	-2.7%	32	3.2%	30	-11.8%	11	10.0%	20	27.8%	93	3.2%	0.0%
Amaryl (アマリアル)	19	-18.2%	-13.6%	8	33.3%	0	-	11	-37.5%	74	-6.9%	93	-9.2%	-14.7%
Insuman	23	-4.0%	-8.0%	22	-12.0%	0	-100.0%	1	-300.0%	11	44.4%	34	8.8%	0.0%
Toujeo (ランタス XR)	140	992.3%	976.9%	27	2600.0%	106	881.8%	7	600.0%	1	-	141	1000.0%	984.6%
糖尿病合計	1,499	-5.1%	-6.7%	338	0.9%	1,033	-7.1%	128	-3.7%	358	5.0%	1,857	-3.2%	-6.6%
Multaq	83	0.0%	-2.4%	12	20.0%	70	-4.1%	1	100.0%	1	-50.0%	84	-1.1%	-3.4%
Praluent	21	-	-	3	-	18	-	0	-	0	-	21	-	-
循環器合計	104	25.9%	22.4%	15	50.0%	88	20.3%	1	200.0%	1	-50.0%	105	24.1%	20.7%
糖尿病および循環器	1,603	-3.5%	-5.2%	353	2.3%	1,121	-5.4%	129	-2.2%	359	4.7%	1,962	-2.0%	-5.4%
Plavix (プラビックス)	392	-25.7%	-28.1%	43	-10.4%	0	-	107	-55.2%	242	-4.4%	392	-25.7%	-28.1%
Lovenox	414	0.5%	-4.4%	262	-0.8%	14	-11.8%	25	12.5%	113	2.4%	414	0.5%	-4.4%
Renagel (レナジェル) / Renvela	208	-7.4%	-10.0%	21	-32.3%	170	-0.6%	7	28.6%	10	-42.1%	208	-7.4%	-10.0%
Aprovel	175	-16.1%	-21.9%	33	-12.8%	2	-60.0%	35	2.7%	105	-20.3%	175	-16.1%	-21.9%
Allegra (アレグラ)	39	-2.7%	5.4%	3	0.0%	0	-	36	-3.0%	0	-	39	-2.7%	5.4%
Myslee / Ambien / Stilnox (マイスリー)	78	5.4%	5.4%	11	0.0%	24	47.1%	30	-15.6%	13	7.1%	78	5.4%	5.4%
Synvisc (サイビスク) / Synvisc One	109	-3.4%	-6.0%	9	0.0%	84	-3.3%	5	0.0%	11	-7.7%	109	-3.4%	-6.0%
Depakine	104	2.8%	-3.7%	41	0.0%	0	-	3	0.0%	60	4.8%	104	2.8%	-3.7%
Tritace	63	-7.1%	-10.0%	39	-4.8%	0	-	2	0.0%	22	-11.1%	63	-7.1%	-10.0%
Lasix (ラシックス)	43	-6.4%	-8.5%	19	-5.0%	0	-100.0%	10	-9.1%	14	0.0%	43	-6.4%	-8.5%
Targocid (タゴシッド)	38	-4.8%	-9.5%	19	-14.3%	0	-	1	50.0%	18	0.0%	38	-4.8%	-9.5%
Orudis	24	-37.2%	-44.2%	5	25.0%	0	-	0	-66.7%	19	-41.7%	24	-37.2%	-44.2%
Cordarone (アンカロン)	32	3.0%	-3.0%	7	14.3%	0	-	8	-12.5%	17	5.6%	32	3.0%	-3.0%
Xatral	27	26.1%	17.4%	10	0.0%	0	-	1	0.0%	16	50.0%	27	26.1%	17.4%
その他の処方薬	871	-8.6%	-12.2%	420	-0.7%	80	-28.4%	90	-15.8%	281	-9.5%	871	-8.6%	-12.2%
エスタブリッシュ処方薬合計	2,617	-9.7%	-13.3%	942	-3.0%	374	-8.3%	360	-29.0%	941	-7.7%	2,617	-9.7%	-13.3%
コンシューマー・ヘルスケア	800	-4.3%	-10.1%	213	0.9%	229	-0.8%	69	18.0%	289	-13.0%	800	-4.3%	-10.1%
ジェネリック医薬品	474	-1.9%	-8.8%	206	-0.5%	45	-10.0%	20	-34.5%	203	2.6%	474	-1.9%	-8.8%
新興市場スペシャルティケア合計	248	16.8%	1.6%							248	16.8%			
新興市場糖尿病および循環器合計	359	4.7%	-6.5%							359	4.7%			
ジェネラルメディスンおよび新興市場	4,498	-5.6%	-11.0%	1,361	-2.0%	648	-5.9%	449	-24.3%	2,040	-3.0%			
医薬品合計	7,346	-1.7%	-5.8%	2,155	2.5%	2,432	1.3%	719	-16.9%	2,040	-3.0%	7,346	-1.7%	-5.8%
ボリオ・百日咳・インフルエンザ菌 b 型(ヒブ)	339	28.6%	24.2%	35	45.8%	88	-1.1%	38	37.0%	178	43.6%	339	28.6%	24.2%
成人用ブースター(追加接種)ワクチン	104	-9.3%	-11.9%	12	20.0%	76	-10.5%	6	16.7%	10	-31.3%	104	-9.3%	-11.9%
髄膜炎菌性髄膜炎・肺炎	139	-1.4%	-4.1%	3	-	105	-5.3%	5	100.0%	26	-3.3%	139	-1.4%	-4.1%
インフルエンザワクチン	96	-10.5%	-15.8%	0	-100.0%	0	-	15	36.4%	81	-14.7%	96	-10.5%	-15.8%
トラベラーズワクチンおよびその他風土病用ワクチン	101	7.2%	4.1%	8	14.3%	45	48.4%	12	-31.3%	36	-9.3%	101	7.2%	4.1%
デング熱	1	-	-	0	-	0	-	0	-	1	-	1	-	-
ワクチン	797	6.3%	2.6%	57	34.9%	331	-2.3%	75	15.4%	334	9.8%	797	6.3%	2.6%
カンパニー合計	8,143	-0.9%	-5.1%	2,212	3.2%	2,763	0.9%	794	-14.6%	2,374	-1.4%	8,143	-0.9%	-5.1%
動物用医薬品	725	9.1%	4.9%	148	4.9%	355	4.6%	62	33.3%	160	15.6%	725	9.1%	4.9%
カンパニー売上高総計	8,868	-0.2%	-4.3%	2,360	3.3%	3,118	1.3%	856	-12.3%	2,534	-0.5%	8,868	-0.2%	-4.3%

(1) IFRS 第 5 号(売却するために保留している固定資産および廃止事業)に従い、連結損益計算書の単一項目で報告される動物用医薬品事業を含む(カンパニー売上高総計の定義については、付録 8 を参照)(2) 定義については、7 ページを参照

付録 1: 2016 年度上半期の GBU 別・製品群別・地域別・製品別純売上高およびカンパニー売上高総計

2016 年度上半期 (単位: 100 万ユーロ)	GBU 合計	前年度比 (CER)	前年度比 調整前	欧州	前年度比 (CER)	米国	前年度比 (CER)	その他	前年度比 (CER)	新興市場	前年度比 (CER)	製品群合計	前年度比 (CER)	前年度比 調整前
Aubagio	578	60.3%	59.2%	154	84.5%	404	52.8%	20	57.1%	16	81.8%	594	61.0%	58.8%
Lemtrada	188	112.2%	108.9%	75	92.5%	102	126.7%	11	140.0%	8	150.0%	196	113.8%	108.5%
多発性硬化症合計	766	70.6%	69.1%	229	87.1%	506	63.5%	31	78.9%	24	100.0%	790	71.6%	68.8%
Cerezyme (セラゼイム)	255	-2.7%	-3.4%	142	1.4%	89	-9.1%	24	0.0%	126	24.2%	381	5.9%	-1.8%
Cerdelga (サデルガ)	49	88.5%	88.5%	8	700.0%	39	56.0%	2	-	0	-	49	88.5%	88.5%
Myozyme (マイオゼイム)	302	12.6%	11.9%	163	10.0%	113	14.1%	26	23.8%	46	3.9%	348	11.2%	8.4%
Fabrazyme (ファブラゼイム)	289	13.8%	14.2%	77	14.7%	164	11.6%	48	21.1%	27	0.0%	316	12.2%	10.1%
Aldurazyme (アウドラゼイム)	71	5.9%	4.4%	38	2.6%	21	5.0%	12	20.0%	27	3.3%	98	5.1%	0.0%
希少疾患合計	1,108	10.5%	10.2%	464	10.9%	486	9.7%	158	12.3%	245	14.9%	1,353	11.4%	7.4%
Taxotere (タキソテール)	28	-39.1%	-39.1%	2	-25.0%	2	-33.3%	24	-41.0%	64	-1.4%	92	-16.5%	-20.0%
Jevtana (ジェブタナ)	167	13.8%	15.2%	71	-5.3%	75	25.0%	21	90.0%	11	0.0%	178	12.6%	11.9%
Eloxatine	20	-54.3%	-56.5%	2	0.0%	0	-100.0%	18	-54.8%	66	9.2%	86	-17.1%	-22.5%
Thymoglobulin (サイモグロブリン)	107	9.1%	8.1%	20	0.0%	76	10.0%	11	22.2%	27	16.0%	134	10.5%	8.1%
Mozobil	68	9.5%	7.9%	21	5.0%	44	12.8%	3	0.0%	4	-16.7%	72	7.2%	4.3%
Zaltrap	32	-17.9%	-17.9%	24	-7.7%	7	-41.7%	1	0.0%	2	100.0%	34	-15.0%	-15.0%
オンコロジー合計	540	-3.0%	-3.2%	166	-5.1%	285	7.9%	89	-25.0%	181	4.2%	721	-1.2%	-3.5%
サノフィジェンゼイム (スペシャルティケア)	2,414	20.3%	19.7%	859	20.1%	1,277	25.6%	278	1.1%	450	13.3%	2,864	19.0%	15.7%
Lantus (ランタス)	2,382	-14.2%	-14.6%	464	-6.4%	1,739	-16.7%	179	-6.6%	478	5.8%	2,860	-11.1%	-13.1%
Apidra (アピドラ)	138	-7.4%	-7.4%	63	3.3%	55	-20.3%	20	5.3%	40	31.4%	178	0.0%	-3.3%
Amaryl (アマリアル)	36	-18.6%	-16.3%	16	23.1%	1	0.0%	19	-37.9%	145	-4.3%	181	-7.3%	-12.1%
Insuman	44	-8.2%	-10.2%	43	-10.4%	1	0.0%	0	-	22	38.9%	66	4.5%	-1.5%
Toujeo (ランタス XR)	243	1120.0%	1115.0%	46	4500.0%	184	927.8%	13	1200.0%	1	-	244	1125.0%	1120.0%
糖尿病合計	2,902	-6.0%	-6.4%	676	2.4%	1,983	-9.0%	243	-2.0%	689	5.7%	3,591	-3.8%	-6.1%
Multaq	167	0.6%	0.0%	23	9.5%	143	-0.7%	1	0.0%	3	0.0%	170	0.6%	0.0%
Praluent	33	-	-	6	-	27	-	0	-	0	-	33	-	-
循環器合計	200	21.0%	19.8%	29	38.1%	170	18.1%	1	50.0%	3	0.0%	203	20.6%	19.4%
糖尿病および循環器	3,102	-4.6%	-5.1%	705	3.5%	2,153	-7.3%	244	-1.6%	692	5.6%	3,794	-2.8%	-5.0%
Plavix (プラビックス)	780	-22.2%	-24.1%	85	-10.5%	1	-	211	-53.9%	483	3.2%	780	-22.2%	-24.1%
Lovenox	818	-1.7%	-6.1%	524	-0.4%	29	-32.6%	47	6.3%	218	-0.8%	818	-1.7%	-6.1%
Renagel (レナジェル) / Renvela	442	-2.4%	-3.3%	43	-35.8%	364	7.4%	15	21.4%	20	-40.5%	442	-2.4%	-3.3%
Aprovel	344	-14.6%	-19.1%	66	-13.0%	6	-25.0%	61	-12.2%	211	-15.4%	344	-14.6%	-19.1%
Allegra (アレグラ)	114	-7.7%	-2.6%	5	-14.3%	0	-	109	-7.3%	0	-	114	-7.7%	-2.6%
Myslee / Ambien / Stilnox (マイスリー)	148	0.0%	-0.7%	22	-4.3%	39	14.3%	60	-11.1%	27	10.7%	148	0.0%	-0.7%
Synvisc (サイビスク) / Synvisc One	197	0.0%	-2.0%	17	0.0%	151	-1.9%	7	0.0%	22	13.6%	197	0.0%	-2.0%
Depakine	206	2.8%	-2.8%	81	-1.2%	0	-	7	14.3%	118	4.9%	206	2.8%	-2.8%
Tritace	125	-11.0%	-13.8%	79	-4.8%	0	-	2	-50.0%	44	-18.6%	125	-11.0%	-13.8%
Lasix (ランシックス)	77	-11.2%	-13.5%	38	-2.6%	0	-100.0%	12	-42.1%	27	3.4%	77	-11.2%	-13.5%
Targocid (タゴシッド)	75	-3.7%	-8.5%	39	-7.1%	0	-	3	0.0%	33	0.0%	75	-3.7%	-8.5%
Orudis	50	-38.7%	-46.2%	9	0.0%	0	-	2	0.0%	39	-44.4%	50	-38.7%	-46.2%
Cordarone (アンカロン)	63	-1.5%	-6.0%	14	0.0%	0	-	15	-12.5%	34	2.8%	63	-1.5%	-6.0%
Xatral	54	18.8%	12.5%	19	0.0%	0	-	2	0.0%	33	34.6%	54	18.8%	12.5%
その他の処方薬	1,715	-8.0%	-11.3%	834	-3.1%	154	-26.8%	171	-14.9%	556	-6.5%	1,715	-8.0%	-11.3%
エスタブリッシュ処方製品合計	5,208	-9.0%	-12.0%	1,875	-4.3%	744	-5.8%	724	-29.2%	1,865	-5.1%	5,208	-9.0%	-12.0%
コンシューマーヘルスケア	1,705	-3.6%	-8.8%	455	-3.6%	513	3.6%	137	15.3%	600	-11.4%	1,705	-3.6%	-8.8%
ジェネリック医薬品	933	0.6%	-6.5%	413	1.0%	94	3.3%	46	-13.7%	380	1.4%	933	0.6%	-6.5%
新興市場スペシャルティケア合計	450	13.3%	-2.0%							450	13.3%			
新興市場糖尿病および循環器合計	692	5.6%	-4.8%							692	5.6%			
ジェネラルメディスンおよび新興市場	8,988	-4.9%	-9.9%	2,743	-3.4%	1,351	-1.8%	907	-23.8%	3,987	-2.0%			
医薬品合計	14,504	-1.5%	-4.9%	4,307	1.7%	4,781	1.4%	1,429	-16.5%	3,987	-2.0%	14,504	-1.5%	-4.9%
ポリオ・百日咳・インフルエンザ菌 b 型 (ヒブ)	627	17.1%	13.0%	58	56.8%	148	-28.5%	63	19.2%	358	47.5%	627	17.1%	13.0%
成人用ブースター (追加接種) ワクチン	184	-12.2%	-13.6%	26	44.4%	127	-19.5%	13	18.2%	18	-20.0%	184	-12.2%	-13.6%
髄膜炎菌性髄膜炎・肺炎	261	10.3%	7.9%	3	200.0%	204	10.2%	8	100.0%	46	0.0%	261	10.3%	7.9%
インフルエンザ ワクチン	116	-8.1%	-14.7%	1	0.0%	3	-250.0%	20	40.0%	92	-18.0%	116	-8.1%	-14.7%
トラベラーズ ワクチンおよびその他風土病用 ワクチン	184	6.1%	2.8%	16	-11.1%	69	38.0%	23	-19.4%	76	0.0%	184	6.1%	2.8%
Dengue 熱	20	-	-	0	-	0	-	0	-	20	-	20	-	-
ワクチン	1,422	7.1%	3.5%	105	39.5%	575	-9.2%	130	12.7%	612	20.7%	1,422	7.1%	3.5%
カンパニー合計	15,926	-0.8%	-4.2%	4,412	2.3%	5,356	0.1%	1,559	-14.6%	4,599	0.5%	15,926	-0.8%	-4.2%
動物用医薬品	1,485	13.2%	10.1%	320	4.2%	728	11.8%	129	16.8%	308	25.2%	1,485	13.2%	10.1%
カンパニー売上高総計	17,411	0.2%	-3.2%	4,732	2.5%	6,084	1.4%	1,688	-12.8%	4,907	1.7%	17,411	0.2%	-3.2%

(1) IFRS 第 5 号 (売却するために保留している固定資産および廃止事業) に従い、連結損益計算書の単一項目で報告される動物用医薬品事業を含む (カンパニー売上高総計の定義については、付録 8 を参照) (2) 定義については、7 ページを参照

付録 2: 2016 年度第 2 四半期および 2016 年度上半期の損益計算書

2016 年度 第 2 四半期 (単位:100 万 ユーロ)	医薬品			ワクチン			その他		全社合計		動物用医薬品 ⁽¹⁾			合計:総計 ⁽²⁾		
	Q2 2016	Q2 2015	前年度 比	Q2 2016	Q2 2015	前年度 比	Q2 2016	Q2 2015	Q2 2016	Q2 2015	Q2 2016	Q2 2015	前年度 比	Q2 2016	Q2 2015	前年度 比
純売上高	7,346	7,800	(5.8%)	797	777	2.6%	-	-	8,143	8,577	725	691	4.9%	8,868	9,268	(4.3%)
その他収益 ⁽³⁾	68	67	1.5%	97	118	(17.8%)	-	-	165	185	8	8		173	193	(10.4%)
売上原価	(2,046)	(2,252)	(9.1%)	(477)	(450)	(6.0%)	-	-	(2,523)	(2,702)	(242)	(236)	2.5%	(2,765)	(2,938)	(5.9%)
純売上高に占める割合	(27.9%)	(28.9%)		(59.8%)	(57.9%)		-	-	(31.0%)	(31.5%)	(33.4%)	(34.2%)		(31.2%)	(31.7%)	
売上総利益	5,368	5,615	(4.4%)	417	445	(6.3%)	-	-	5,785	6,060	491	463	6.0%	6,276	6,523	(3.8%)
純売上高に占める割合	73.1%	72.0%		52.3%	57.3%		-	-	71.0%	70.7%	67.7%	67.0%		70.8%	70.4%	
研究開発費	(1,138)	(1,104)	3.1%	(141)	(142)	(0.7%)	-	-	(1,279)	(1,246)	(46)	(44)	4.5%	(1,325)	(1,290)	2.7%
純売上高に占める割合	(15.5%)	(14.2%)		(17.7%)	(18.3%)		-	-	(15.7%)	(14.5%)	(6.3%)	(6.4%)		(14.9%)	(13.9%)	
販売費および一般管理費	(2,215)	(2,216)	(0.0%)	(182)	(188)	(3.2%)	-	-	(2,397)	(2,404)	(253)	(244)	3.7%	(2,650)	(2,648)	0.1%
純売上高に占める割合	(30.2%)	(28.4%)		(22.8%)	(24.2%)		-	-	(29.4%)	(28.0%)	(34.9%)	(35.3%)		(29.9%)	(28.6%)	
その他の当期営業損益	3	(11)		(1)	1		(25)	(15)	(23)	(25)	-	5		(23)	(20)	
関連会社*および合併会社持分利益	28	29		2	1		-	-	30	30	-	-		30	30	
非支配株主に帰属する純利益	(23)	(29)		-	-		-	-	(23)	(29)	-	-		(23)	(29)	
事業営業利益	2,023	2,284	(11.4%)	95	117	(18.8%)	(25)	(15)	2,093	2,386	192	180	6.7%	2,285	2,566	(11.0%)
純売上高に占める割合	27.5%	29.3%		11.9%	15.1%				25.7%	27.8%	26.5%	26.0%		25.8%	27.7%	
											財務収益(費用) ⁽⁴⁾			(76)	(112)	
											法人税 ⁽⁴⁾			(529)	(614)	
											法人税率**			24.0%	25.0%	
											事業純利益			1,680	1,840	(8.7%)
											純売上高に占める割合			18.9%	19.9%	
											1 株当たり事業純利益			1.31	1.41	(7.1%)
											*** (単位:ユーロ)					

* 税控除後

** 税引前事業利益、関連会社、非支配持分に基いて算出

*** 2016 年度第 2 四半期の 12 億 8,680 万株、前年同期の 13 億 590 万株という期中平均発行済み株式数に基づく

(1) IFRS 第 5 号の「廃止事業」の表示要件に従い、動物用医薬品事業の純利益は、2016 年度まで「交換するために保留している動物用医薬品事業による純利益」の連結損益計算書の単一項目として報告される。取引が完了するまで、動物用医薬品はカンパニーの事業セグメントとして残存する

(2) IFRS 第 5 号(売却するために保留している固定資産および廃止事業)に従い、連結損益計算書の単一項目で別途報告される動物用医薬品事業を含む。さらに、「総計」の用語を使用するすべての損益計算書において、サノフィのコメントは動物用医薬品事業を含む

(3) 会計表示の変更に従い、VaxServe によるグループ製品以外の売上高は、2016 年度以降の「その他収益」で報告される。前期の純売上高およびその他収益は、それに応じて修正される

(4) 動物用医薬品事業を含む総計

2016 年度 上半期 (単位:100 万 ユーロ)	医薬品			ワクチン			その他		全社合計		動物用医薬品 ⁽¹⁾			合計:総計 ⁽²⁾		
	H1 2016	H1 2015	前年度 比	H1 2016	H1 2015	前年度 比	H1 2016	H1 2015	H1 2016	H1 2015	H1 2016	H1 2015	前年度 比	H1 2016	H1 2015	前年度 比
純売上高	14,504	15,255	(4.9%)	1,422	1,374	3.5%	-	-	15,926	16,629	1,485	1,349	10.1%	17,411	17,978	(3.2%)
その他収益 ⁽³⁾	122	129	(5.4%)	188	224	(16.1%)	-	-	310	353	18	20	(10.0%)	328	373	(12.1%)
売上原価	(4,143)	(4,442)	(6.7%)	(827)	(826)	0.1%	-	-	(4,970)	(5,268)	(488)	(456)	7.0%	(5,458)	(5,724)	(4.6%)
純売上高に占める割合	(28.6%)	(29.1%)		(58.2%)	(60.1%)		-	-	(31.2%)	(31.7%)	(32.9%)	(33.8%)		(31.3%)	(31.8%)	
売上総利益	10,483	10,942	(4.2%)	783	772	1.4%	-	-	11,266	11,714	1,015	913	11.2%	12,281	12,627	(2.7%)
純売上高に占める割合	72.3%	71.7%		55.1%	56.2%		-	-	70.7%	70.4%	68.4%	67.7%		70.5%	70.2%	
研究開発費	(2,246)	(2,143)	4.8%	(268)	(262)	2.3%	-	-	(2,514)	(2,405)	(89)	(84)	6.0%	(2,603)	(2,489)	4.6%
純売上高に占める割合	(15.5%)	(14.0%)		(18.8%)	(19.1%)		-	-	(15.8%)	(14.5%)	(6.0%)	(6.2%)		(15.0%)	(13.8%)	
販売費および一般管理費	(4,261)	(4,310)	(1.1%)	(348)	(344)	1.2%	-	-	(4,609)	(4,654)	(459)	(432)	6.3%	(5,068)	(5,086)	(0.4%)
純売上高に占める割合	(29.4%)	(28.3%)		(24.5%)	(25.0%)		-	-	(28.9%)	(28.0%)	(30.9%)	(32.0%)		(29.1%)	(28.3%)	
その他の当期営業損益	110	(39)		(1)	2		(39)	(55)	70	(92)	(14)	5		56	(87)	
関連会社*および合弁会社持分利益	44	61		9	-		-	-	53	61	-	-		53	61	
非支配株主に帰属する純利益	(50)	(62)		-	-		-	-	(50)	(62)	-	-		(50)	(62)	
事業営業利益	4,080	4,449	(8.3%)	175	168	4.2%	(39)	(55)	4,216	4,562	453	402	12.7%	4,669	4,964	(5.9%)
純売上高に占める割合	28.1%	29.2%		12.3%	12.2%				26.5%	27.4%	30.5%	29.8%		26.8%	27.6%	
											財務収益(費用) ⁽⁴⁾			(194)	(209)	
											法人税 ⁽⁴⁾			(1,073)	(1,189)	
											法人税率**			24.0%	25.0%	
											事業純利益			3,402	3,566	(4.6%)
											純売上高に占める割合			19.5%	19.8%	
											1株当たり事業純利益*** (単位:ユーロ)			2.64	2.73	(3.3%)

* 税控除後

** 税引前事業利益、関連会社、非支配持分に基つて算出

*** 2016 年度第上半期の 12 億 8,760 万株、前年同期の 13 億 720 万株という期中平均発行済み株式数に基づく

- (1) IFRS 第 5 号の「廃止事業」の表示要件に従い、動物用医薬品事業の純利益は、2016 年度まで「交換するために保留している動物用医薬品事業による純利益」の連結損益計算書の単一項目として報告される。取引が完了するまで、動物用医薬品はカンパニーの事業セグメントとして残存する
- (2) IFRS 第 5 号(売却するために保留している固定資産および廃止事業)に従い、連結損益計算書の単一項目で別途報告される動物用医薬品事業を含む。さらに、「総計」の用語を使用するすべての損益計算書において、サノフィのコメントは動物用医薬品事業を含む
- (3) 会計表示の変更に従い、VaxServe によるグループ製品以外の売上高は、2016 年度以降の「その他収益」で報告される。前期の純売上高およびその他収益は、それに応じて修正される
- (4) 動物用医薬品事業を含む総計

付録3: 事業純利益から当社株主に帰属する純利益への調整

(単位:100万ユーロ)	2016年度 第2四半期 ⁽¹⁾	2015年度 第2四半期 ⁽¹⁾	前年度比
事業純利益	1,680	1,840	(8.7%)
無形固定資産の償却 ⁽²⁾	(433)	(489)	
無形固定資産の減損	(52)	(1)	
偶発対価債務の公正価値での再評価	(38)	70	
事業再編費用および類似項目	(127)	(27)	
その他の損益および訴訟費用	-	-	
上記項目の税効果:	210	161	
無形固定資産の償却	151	169	
無形固定資産の減損	16	-	
偶発対価債務の公正価値での再評価	4	(21)	
その他の損益および訴訟費用	-	-	
事業再編費用および類似項目	39	13	
その他の税目	(113)	(111)	
上記項目中、非支配株主に帰属する利益	8	2	
関連会社と合弁会社の事業再編費用、関連会社と合弁会社に対する買収の影響から生じる費用	(16)	(65)	
動物用医薬品項目 ⁽³⁾	58	(78)	
その他のサノフィパストール MSD 製品 ⁽⁴⁾	(19)	-	
当社株主に帰属する純利益	1,158	1,302	(11.1%)
IFRS 1 株当たり利益⁽⁵⁾ (単位:ユーロ)	0.90	1.00	

(1) 動物用医薬品事業は、IFRS第5号(売却するために保留している固定資産および廃止事業)に従い、別途報告される

(2) 合併の一部としての無形固定資産の再評価によって生じた償却費に関して、2016年度第2四半期は3億9,900万ユーロ、前年同期は4億6,000万ユーロとなった

(3) 以下の項目が含まれる: IFRS第5号(売却するために保留している固定資産および廃止事業)の適用開始に伴う有形固定資産の減価償却および減損の中止の影響、IFRS第5号の適用までの無形固定資産の償却および減損の影響、売却の結果として生じる費用、それらの項目の税効果、アウトサイド・ベイスン繰延税金の影響

(4) 以下の項目が含まれる: サノフィとメルク社が欧州での共同ワクチン事業を終了する意向を発表した後のサノフィパストールMSD事業純利益の持分会計の中止の影響およびアウトサイド・ベイスン繰延税金の影響

(5) 2015年度第2四半期の12億8,680万株、前年同期の13億590万株という期中平均発行済み株式数に基づく

(単位:100 万ユーロ)	2016 年度 上半期 ⁽¹⁾	2015 年度 上半期 ⁽¹⁾	前年度比
事業純利益	3,402	3,566	(4.6%)
無形固定資産の償却 ⁽²⁾	(877)	(988)	
無形固定資産の減損	(52)	(28)	
偶発対価債務の公正価値での再評価	(67)	71	
事業再編費用および類似項目	(627)	(380)	
その他の損益および訴訟費用	-	-	
上記項目の税効果:	548	473	
無形固定資産の償却	307	343	
無形固定資産の減損	16	10	
偶発対価債務の公正価値での再評価	15	(14)	
その他の損益および訴訟費用	-	-	
事業再編費用および類似項目	210	134	
その他の税目	(113)	(111)	
上記項目中、非支配株主に帰属する利益	9	3	
関連会社と合弁会社の事業再編費用、関連会社と合弁会社に対する買収の影響から生じる費用	54	(127)	
動物用医薬品項目 ⁽³⁾	(13)	(154)	
その他のサノフィパスツール MSD 製品 ⁽⁴⁾	(19)	-	
当社株主に帰属する純利益	2,245	2,325	(3.4%)
IFRS 1 株当たり利益⁽⁵⁾ (単位:ユーロ)	1.74	1.78	

(1) 動物用医薬品事業は、IFRS 第 5 号(売却するために保留している固定資産および廃止事業)に従い、別途報告される

(2) 合併の一部としての無形固定資産の再評価によって生じた償却費に関して、2016 年度上半期は 8 億 900 万ユーロ、前年同期は 9 億 3,100 万ユーロとなった

(3) 以下の項目が含まれる: IFRS 第 5 号(売却するために保留している固定資産および廃止事業)の適用開始に伴う有形固定資産の減価償却および減損の中止の影響、IFRS 第 5 号の適用までの無形固定資産の償却および減損の影響、売却の結果として生じる費用、それらの項目の税効果

(4) 以下の項目が含まれる: サノフィとメルク社が欧州での共同ワクチン事業を終了する意向を発表した後のサノフィパスツール MSD 事業純利益の持分会計の中止の影響およびアウトサイド・ベイス繰延税金の影響

(5) 2016 年度第上半期の 12 億 8,760 万株、前年同期の 13 億 720 万株という期中平均発行済み株式数に基づく

付録 4: 連結損益計算書

(単位: 100 万ユーロ)	2016 年度 第 2 四半期 ⁽¹⁾	2015 年度 第 2 四半期 ⁽¹⁾⁽²⁾	2016 年度 上半期 ⁽¹⁾	2015 年度 上半期 ⁽¹⁾⁽²⁾
純売上高	8,143	8,577	15,926	16,629
その他収益	165	185	310	353
売上原価	(2,523)	(2,702)	(4,970)	(5,268)
売上総利益	5,785	6,060	11,266	11,714
研究開発費	(1,279)	(1,246)	(2,514)	(2,405)
販売費および一般管理費	(2,397)	(2,404)	(4,609)	(4,654)
その他の当期営業収益	48	40	265	74
その他の当期営業費用	(71)	(65)	(195)	(166)
無形固定資産の償却	(433)	(489)	(877)	(988)
無形固定資産の減損	(52)	(1)	(52)	(28)
偶発対価債務の公正価値での再評価	(38)	70	(67)	71
事業再編費用および類似項目	(127)	(27)	(627)	(380)
営業利益	1,436	1,938	2,590	3,238
財務費用	(112)	(131)	(241)	(262)
財務収益	38	21	50	57
関連会社および合弁会社持分利益を除く税引前利益	1,362	1,828	2,399	3,033
法人税	(380)	(508)	(497)	(692)
関連会社および合弁会社持分利益	5	(35)	98	(66)
交換するために保留している動物用医薬品事業を除く純利益	987	1,285	2,000	2,275
交換するために保留している動物用医薬品事業による純利益	186	44	286	109
純利益	1,173	1,329	2,286	2,384
非支配株主に帰属する純利益	15	27	41	59
当社株主に帰属する純利益	1,158	1,302	2,245	2,325
期中平均発行済み株式数(単位: 100 万株)	1,286.8	1,305.9	1,287.6	1,307.2
交換するために保留している動物用医薬品事業を除く 1 株当たり純利益(単位: ユーロ)	0.76	0.96	1.52	1.70
IFRS 1 株当たり利益(単位: ユーロ)	0.90	1.00	1.74	1.78

- (1) IFRS 第 5 号(売却するために保留している固定資産および廃止事業)に従い、連結損益計算書の単一項目で別途報告される動物用医薬品事業を含む
- (2) 会計表示の変更に従い、VaxServe によるグループ製品以外の売上高は、2016 年度以降の「その他収益」で報告される。前期の純売上高およびその他収益は、それに応じて修正される

付録 5: 純負債の変動

(単位: 100 万ユーロ)	2016 年度 上半期	2015 年度 上半期
事業純利益	3,402	3,566
有形固定資産およびソフトウェアの減価償却および減損	638	628
非流動資産の純売却損益 (税控除後)	(27)	(44)
その他の非現金項目	(19)	(218)
運転資本変動前の営業キャッシュフロー⁽¹⁾	3,994	3,932
運転資本変動 ⁽¹⁾	(753)	(181)
有形固定資産およびソフトウェアの取得	(700)	(667)
フリーキャッシュフロー⁽¹⁾	2,541	3,084
ソフトウェアを除く無形固定資産の取得	(556)	(280)
投資株式の取得 (引受債務込み) ⁽¹⁾	(369)	(169)
支払い済みの事業再編費用および類似項目	(347)	(345)
有形固定資産、無形固定資産、およびその他の非流動資産の処分益 (税控除後)	262	86
サノフィ株式の発行	17	462
当社株主に支払った配当	(3,759)	(3,694)
自社株買い戻し	(1,403)	(1,243)
自己株式の処分 (税控除後)	-	1
配当を含む非支配株主との取引	(9)	(16)
為替変動の影響	107	(391)
その他項目	(231)	(50)
純負債の変動	(3,747)	(2,555)

(1) 事業再編費用および類似項目を除く

付録 6: 簡易連結貸借対照表

資産の部 (単位:100 万ユーロ)	2016年 6月30日 現在	2015年 12月31日 現在	負債・資本の部 (単位:100 万ユーロ)	2016年 6月30日 現在	2015年 12月31日 現在
			当社株主に帰属する持分	54,190	58,049
			非支配株主に帰属する 純利益	157	161
			資本合計	54,347	58,210
有形固定資産	9,819	9,943	長期債務	14,850	13,118
無形資産(営業権を含む)	50,514	51,583	合併や非支配持分に関連した 固定負債	1,027	1,121
非流動金融資産、関連会社 株式、繰延税金資産	10,435	10,115	引当金およびその他の固定 負債	9,895	9,169
			繰延税金	2,774	2,895
固定資産	70,768	71,641	固定負債	28,546	26,303
			買掛金およびその他の流動 負債	12,607	13,259
在庫額、売掛金、およびそ の他の流動資産	16,259	15,780	合併や非支配持分に関連し た流動負債	210	130
現金および現金等価物	6,076	9,148	短期借入金および一年内 返済予定長期借入金	2,427	3,436
流動資産	22,335	24,928	流動負債	15,244	16,825
売却または交換するために 保留している資産	6,010	5,752	売却または交換するために 保留している資産に関連す る負債	976	983
資産合計	99,113	102,321	負債・資本合計	99,113	102,321

付録 7: 2016 年の為替感度

2016 年の 1 株当たり事業利益の為替感度

通貨	変動	事業純利益の 為替感度
米ドル	-0.05 ドル/ユーロ	+0.13 ユーロ
日本円	+5 円/ユーロ	-0.02 ユーロ
中国元	+0.2 元/ユーロ	-0.02 ユーロ
ブラジル・リアル	+0.4 レアル/ユーロ	-0.01 ユーロ
ロシア・ルーブル	+10 ルーブル/ユーロ	-0.04 ユーロ

2016 年度第 2 四半期および 2015 年度通年の通貨変動リスク

通貨	2016 年度第 2 四半期	2015 年度通年*
米ドル	36.1%	36.3%
ユーロ	24.5%	23.1%
中国元	5.8%	5.7%
日本円	4.9%	5.4%
ブラジル・リアル	2.7%	2.8%
英ポンド	1.9%	2.1%
オーストラリア・ドル	1.6%	1.4%
カナダ・ドル	1.4%	1.5%
ロシア・ルーブル	1.2%	1.6%
メキシコ・ペソ	1.3%	1.8%
その他	18.6%	18.3%

* VaxServe を除く

平均為替レート

	2015 年度 第 2 四半期	2016 年度 第 2 四半期	前年度比
ユーロ/ドル	1.10	1.13	+2.2%
ユーロ/円	134.14	121.98	-9.1%
ユーロ/元	6.85	7.38	+7.7%
ユーロ/リアル	3.39	3.96	+16.8%
ユーロ/ルーブル	58.12	74.35	+27.9%

付録 8: 研究開発パイプライン

N: 新規分子化合物

申請中

N	LixiLan インスリングルタミン+リキシセナチド 固定比率合剤/2型糖尿病、米国、EU	Dengvaxia^{®(1)} 軽度から重度までの デング熱に対するワクチン
N	sarilumab 抗 IL-6R モノクローナル抗体 関節リウマチ、米国、EU	PR5i DTP-HepB-Polio-Hib (ジフテリア・破傷風・百日咳、B型肝炎、ポリオ、ヒブ) 小児用 6 種混合ワクチン、米国
		VaxiGrip[®] QIV IM 4 価不活化 インフルエンザワクチン (3 歳以上)

第 III 相

N	SAR342434 インスリン リスプロ 1 型・2 型糖尿病	クロストリジウム・デフィシル トキシイドワクチン
N	sotagliflozin 経口 SGLT-1 および SGLT-2 阻害剤 1 型糖尿病	VaxiGrip[®] QIV IM 4 価不活化 インフルエンザワクチン (6~35 カ月)
N	dupilumab 抗 IL-4R α モノクローナル抗体 アトピー性皮膚炎、喘息	小児用 5 種混合ワクチン DTP-Polio-Hib (ジフテリア・破傷風・百日咳、ポリオ、ヒブ) 日本
N	patisiran (ALN-TTR02) TTR 標的 siRNA 阻害剤 家族性アミロイドポリニューロパチー	Men Quad TT 第 2 世代の髄膜炎菌 ACYW 結合型ワクチン
N	revusiran (ALN-TTRsc) TTR 標的 siRNA 阻害剤 家族性アミロイド心筋症	

(1) ブラジル、メキシコ、フィリピン、エルサルバドル、コスタリカで承認

第II相

N	dupilumab 抗 IL-4R α モノクローナル抗体 鼻ポリープ、好酸球性食道炎	N	isatuximab 抗 CD38 モノクローナル抗体 多発性骨髄腫		狂犬病 VRVg 精製ペロ細胞狂犬病ワクチン
N	SAR156597 IL4/IL13 二重特異性モノクローナル抗体 特発性肺線維症	N	SAR439684 PD-1 阻害剤 進行性 CSCC (皮膚がん)		結核 遺伝子組換えサブユニットワクチン
N	SAR100842 LPA1 受容体拮抗剤 全身性強皮症	N	olipudase alfa rhASM 欠損 ニーマンピック病 B 型		Fluzone[®] QIV HD 4 価不活化 インフルエンザワクチン-高用量
	sotagliflozin 経口 SGLT-1 および SGLT-2 阻害剤 2 型糖尿病	N	GZ402671 経口グルコシルセラミド合成酵素阻害剤 ファブリー病		
N	efpeglenatide 長時間作用型 GLP-1 受容体作動薬 2 型糖尿病	N	SAR422459 ABCA4 遺伝子療法 シユタルガルト病		
	sarilumab 抗 IL-6R モノクローナル抗体 ブドウ膜炎	N	併用療法 ferroquine / OZ439 抗マラリア薬		

第I相

N	GZ402668 GLD52 (抗 CD52 モノクローナル抗体) 再発性多発性硬化症	N	SAR566658 メイトンシン搭載抗 CA6 モノクローナル抗体 固形がん	N	SAR228810 抗プロトフィブリル AB モノクローナル抗体 アルツハイマー病
N	GZ389988 TRKA 拮抗剤 変形性関節炎	N	SAR408701 メイトンシン搭載抗 CEACAM5 モノクローナル抗体 固形がん	N	SAR439152 ミオシン阻害剤 肥大型心筋症
N	SAR425899 GLP-1R/GCGR デュアル作動薬 2 型糖尿病	N	SAR428926 メイトンシン搭載抗 LAMP1 モノクローナル抗体 がん	N	SAR407899 rho キナーゼ 微小血管性狭心症
N	SAR438335 GLP-1R/GIPR デュアル作動薬 2 型糖尿病	N	GZ402666 neo GAA ボンベ病	N	SAR366234 EP2 受容体作動薬 眼圧亢進
N	SAR440067 (LAPS インスリン 115) 長時間持続型インスリンアナログ 1 型・2 型糖尿病	N	SAR339375 抗 miR21 RNA アルポート症候群		肺炎レンサ球菌 髄膜炎・肺炎ワクチン
		N	fitusiran (ALN-AT3) アンチトロンビン標的 siRNA 阻害剤 血友病		単純ヘルペスウイルス 2 型 HSV-2 ワクチン
		N	UshStat[®] ミオシン 7A 遺伝子療法 アッシャー症候群 1B		

付録 9: 見込まれる研究開発マイルストーン

製品	イベント	時期
Dengvaxia [®]	流行国での規制当局の決定(見込み)	2016 年度
dupilumab	アトピー性皮膚炎に関する米国での薬事承認申請(見込み)	2016 年度 第 3 四半期
インスリン リスプロ	糖尿病における第 III 相 SORELLA 2 試験の重要な結果(見込み)	2016 年度 第 3 四半期
NeoGAA (GZ402666)	ポンペ病における第 III 相試験の開始(見込み)	2016 年度 第 3 四半期
LixiLan	2 型糖尿病に関する米国の規制当局の決定(見込み)	2016 年度 第 3 四半期
sarilumab	関節リウマチに関する米国の規制当局の決定(見込み)	2016 年度 第 4 四半期
Praluent [®]	ODYSSEY OUTCOMES 第 2 回中間解析 ⁽¹⁾ の結果(見込み)	2016 年度 第 4 四半期
VaxiGrip [®] QIV IM(3 歳以上)	EU の規制当局の決定(見込み)	2016 年度 第 4 四半期
sotagliflozin	2 型糖尿病における第 III 相試験の開始(見込み)	2016 年度 第 4 四半期
efpeglenatide	2 型糖尿病における第 III 相試験の開始(見込み)	2016 年度 第 4 四半期
isatuximab (抗 CD38)	多発性骨髄腫における第 III 相試験の開始(見込み)	2016 年度 第 4 四半期
dupilumab	鼻ポリープにおける第 III 相試験の開始(見込み)	2017 年度 第 1 四半期
fitusiran	血友病における第 III 相試験の開始(見込み)	2017 年度 第 1 四半期
dupilumab	アトピー性皮膚炎における米国の規制当局の決定(見込み)	2017 年度 上半期

(1) 一次イベントの目標数の 75%が発生した時点で無益性および圧倒的有効性の第 2 回中間解析を行う

付録 10:GAAP(一般会計原則)と異なる財務指標の定義

カンパニー

「カンパニー」は、サノフィとその子会社に相当します。

総計

サノフィのコメントは、「総計」という表現を使用して、損益計算書の各項目に動物用医薬品事業を含んでいます。

カンパニー売上高総計(為替レート変動の影響を除く)

「売上高総計(為替レート変動の影響を除く)」での変化に言及する場合は、為替レート変動の影響が排除されていることを意味します。

為替レートの影響は、前期に使用された為替レートで当期の売上高総計を再計算することによって、排除されます。

2016 年度第 2 四半期および 2016 年度上半期の純売上高からカンパニー売上高総計(為替レート変動の影響を除く)への調整

(単位:100 万ユーロ)	2016 年度 第 2 四半期	2016 年度 上半期
純売上高	8,143	15,926
動物用医薬品純売上高	725	1,485
カンパニー売上高総計	8,868	17,411
為替レートの影響	+382	+610
カンパニー売上高総計(為替レート変動の影響を除く)	9,250	18,021

事業純利益

サノフィは、GAAP(一般会計原則)と異なる主要指標を発表します。

事業純利益は、当社株主に帰属する純利益から以下の項目を除外したものと定義されます。

- 無形固定資産の償却
- 無形固定資産の減損
- 合併に関連する偶発対価債務の公正価値での再評価
- 買収に関連するその他の影響(関連会社に対する買収の影響など)
- 事業再編費用⁽¹⁾および類似項目
- その他の損益(非流動資産の売却損益⁽¹⁾を含む)
- 訴訟に関わる費用または引当金⁽¹⁾
- 上記の各項目に対する税効果と主要な税務訴訟の影響
- 当社株主に支払った配当に対する課税(3%)
- 事業純利益のうちの動物用医薬品項目⁽²⁾
- 上記項目に関連する非支配株主に帰属する純利益
- サノフィパスツール MSD ジョイントベンチャーに関連するその他項目⁽³⁾

(1) 連結損益計算書の Note B.20.で定義されているとおり、再編費用と売却・訴訟に関わる損益の勘定科目で報告されます。

(2) IFRS 第 5 号(売却するために保留している固定資産および廃止事業)の適用開始に伴う有形固定資産の減価償却および減損中止の影響、IFRS 第 5 号の適用までの無形固定資産の償却および減損の影響、売却の結果として増加する費用、これらの項目の税効果

(3) サノフィとメルク社が欧州でのジョイントベンチャーを終了する意向を発表した日以降のサノフィパスツール MSD の事業純利益におけるグループ持分を除外し、ジョイントベンチャーへの投資に関連して将来加算一時差異により生じる法人税を加算します。

サノフィについて

サノフィは、グローバルヘルスケアリーダーとして、患者さんのニーズにフォーカスした医療ソリューションの創出・研究開発・販売を行っています。5つのグローバルビジネスユニット(糖尿病および循環器領域、ジェネラルメディスンと新興市場、サノフィジェンザイム、サノフィパズツール、メリアル)で組織され、パリ(EURONEXT:SAN)およびニューヨーク(NYSE:SNY)に上場しています。

今後の見通しに関する記述

当プレスリリースには、1995年民間有価証券訴訟改正法(修正を含む)でいう「今後の見通しに関する記述」が含まれています。今後の見通しに関する記述とは、歴史的事実を述べるものではない記述です。これらの記述には、計画と予測ならびにそれらの根拠となる前提、将来の財務結果、事象、事業、サービス、製品の開発および可能性に関する計画、目標、意向および期待に関する記述、ならびに、将来の実績に関する記述が含まれます。一般的に、今後の見通しに関する記述は、「予想」、「期待」、「見込み」、「予定」、「予測」、「計画」などの表現によって識別されます。サノフィの経営陣はそのような今後の見通しに関する記述に反映された予想を妥当と考えますが、投資家は今後の見通しに関する情報と記述がさまざまなリスクと不確実性の影響を受けやすく、それらの多くが予測困難であり、通常サノフィが制御できず、そのために実際の結果と進展が、今後の見通しに関する情報と記述の中で表現された、暗示された、または予測されたものとは実質的に異なる場合があることに注意してください。そのようなリスクと不確実性には、研究開発、市販後を含む今後の臨床データおよび解析、薬剤・機器・生物学的製剤などの製品候補について提出される申請の承認の是非および時期に関するFDAやEMAなどの規制当局の決定、ならびにそのような製品候補の利用可能性や商業的可能性に影響を及ぼすラベリングその他の問題に関する当局の決定に付随する不確実性、製品候補が承認された場合に商業的に成功するという保証の欠如、代替治療薬の将来的な承認および商業的成功とサノフィが外部成長の機会から利益を得て、規制当局の認可を取得する可能性に付随する不確実性、知的財産権やそれに関連した進行中または係争中の訴訟、ならびにそのような訴訟の最終結果に関連するリスク、為替レートと実勢金利のトレンド、不安定な経済情勢、コスト削減イニシアチブとその後の変更の影響、期中平均発行済み株式数、ならびにサノフィの2015年12月31日終了事業年度フォーム20-F年次報告書の「リスク要因」および「今後の見通しに関する記述」項目を含む、サノフィが作成したSECおよびAMFに対する公の届け出の中で議論されているかまたは特定されているものが含まれます。サノフィは、適用法によって義務付けられている場合を除き、今後の見通しに関する情報または記述の更新または見直しを行う義務を負うものではありません。